

BBP[®] 16M

熱転写式/感熱式
バーコードプリンタ

取扱説明書

目次

著作権について	3
適合および認定規格	4
1. はじめに	8
1.1 製品紹介	8
1.2 製品機能	9
2. 操作概要	11
2.1 開梱と検査	11
2.2 プリンタ概要	12
2.2.1 正面図	12
2.2.2 内部図	13
2.2.3 背面図	14
2.3 オペレータコントロール	15
2.3.1 LED 表示およびキー	16
2.3.2 メイン画面のアイコン	17
2.3.3 パワーオン・ユーティリティ	18
3. 設定	19
3.1 プリンタの設定	19
3.2 リボンの装着	20
3.3 使用済みリボンの取り外し	22
3.4 メディアの取り付け	23
3.4.1 メディアの取り付け	23
3.4.2 ファンフォールド/外部メディアの取り付け	26
4. 調整ノブ	27
4.1 プrintヘッド圧力調整ノブおよびPrintヘッド圧力位置調整ノブ	27
4.2 リボンテンション調整ノブモジュール	28
4.3 リボンの皺を防ぐ機構微調整	29

5. LCD メニュー機能	31
5.1 メニューに入る	31
5.2 メニュー概要	31
5.3 設定	32
5.3.1 TSPL	32
5.3.2 ZPL2.....	35
5.4 センサー	38
5.5 インターフェイス.....	39
5.5.1 シリアル通信	39
5.5.2 イーサネット.....	40
5.6 詳細	41
5.7 ファイルマネージャ	43
5.8 診断.....	44
5.9「お気に入り」を整理する方法	46
6. 診断ツール (Diagnostic Tool).....	48
6.1 診断ツールの開始.....	48
6.2 プリンタ機能.....	49
6.3 診断ツールによるイーサネットの設定	50
6.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	50
6.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	51
6.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する.....	52
7. トラブルシューティング	54
8. メンテナンス	57

著作権について






©2021 Brady Worldwide, Inc. All Rights Reserved

本書、また本書に記載するプリンタに搭載のソフトウェアおよびファームウェアの著作権は弊社が所有しています。
無断複写・複製・転載を禁じます。

CG Triumvirate はAgfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントはMonotype Corporation からライセンス供与されています。Windows はMicrosoft Corporation の登録商標です。
その他の商標はすべて、それを保持する各社に帰属します。

本書の内容は予告なしに変更されることがあり、弊社のいかなる義務も示すものではありません。本書のいかなる部分も、弊社の書面による事前の許可なしに、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず固く禁止します。

適合および認定規格

	<p>EN 55032, Class A EN 55024 EN 62368-1</p> <p>This is a class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.</p>
	<p>KN 32 KN 35</p> <p>이 기기는 업무용(A 급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.</p>
	<p>EN 62368-1</p>
	<p>GB 4943.1 GB 9254, Class A GB 17625.1</p> <p>此为 A 级产品, 在生活环境中, 该产品可能会造成无线电干扰, 在这种情况下, 可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。</p>
	<p>IS 13252(Part 1)/ IEC 60950-1</p>

注意: シリーズモデルには認証の違いがある場合があります。正確性については、製品ラベルを参照してください。

安全に関する重要な注意事項:

1. この注意事項をよくお読みください。
2. この取扱説明書は後日使用する可能性があるのでお手元にお置きください。
3. 清掃前には、プリンタ本体の電源を抜いてください。プリンタ本体の清掃には柔らかい布をお使いください。
4. 電源コードコンセントは機器近くに置いて、すぐに差し込めるようにします。
5. 機器は湿気から保護してください。
6. 機器は平らで安定したところに置いてください。傾斜設置や落下は機器にダメージを与えますのでお気をつ

けください。

7. 電源コードを接続する際には入力定格がありますのでご注意ください。
8. 最大動作周辺温度は最大 40℃です。



注意:

危険な可動部品が含まれていますので、指や身体部分を近づけないようにしてください。

注意:

電池を不適切なタイプと交換すると爆発の危険があります。使用済み電池の廃棄は製造元の指示に従ってください。

本装置の被授与者が明示的に許可されていない変更や改造を行った場合、本装置を使用するお客様の権利は無効になることがあります。

メインボードには、リチウム電池 CR2032 を取り付けリアルタイムクロック機能があります。電池を不適切なタイプと交換すると爆発の危険があります。

使用済み電池の廃棄は製造元の指示に従ってください。

注意:

(RTC (CR2032) バッテリーまたは充電式バッテリーパックを搭載する製品対象)

誤ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

使用済みバッテリーは、以下の指示に従って処分してください。

1. 火の中に投下しないでください。
2. 接点を短絡させないでください。
3. バッテリーを分解しないでください。
4. バッテリーを一般廃棄物に捨てないでください。
5. バツ印の車輪付きゴミ箱のシンボルは、バッテリーを一般廃棄物に入れてはならないことを示しています。



注意: プリントヘッドが熱くなっている場合があります、深刻な火傷を引き起こす可能性があります。プリントヘッドが冷めるまでお待ちください。

注意:

明示的に本装置の受領者が承認していない変更や改造により、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

CE 声明:

本装置は、規制されていない環境のために設定された EU 放射線暴露限度に準拠しています。ラジエーターと人体の間に、最低でも 20 cm の距離を置くことができる場所に設置して、操作するようにしてください。

全動作モード:

2.4GHz: 802.11b, 802.11g, 802.11n (HT20), 802.11n (HT40)

5GHz: 802.11a,

ヨーロッパにおける波長数、モード、最大送信電力を以下に示します:

2400 MHz – 2483.5 MHz: 19.88 dBm (EIRP)

5150 MHz – 5250 MHz: 17.51 dBm (EIRP)

室内使用のみの場合 5150-5350MHz

室内外使用の場合 5470-5725MHz

アゼルバイジャンにおける制限

国による制限情報を以下に示します

周波数バンド	Country(国)	備考
5150-5350MHz	アゼルバイジャン	室内での使用で出力が 30mW を超えない場合、ライセンスは必要ありません
5470-5725MHz		

製造元メーカーは、無線装置タイプ [Wi-Fi] IEEE 802.11 a/b/g/n が指令 2014/53/EU に適合していることをここに宣言します。

EU 適合宣言の全文は次のインターネットアドレスからご覧いただけます: <http://www.tscprinters.com>

RF 被爆警告(Wi-Fi)

本装置は、提供された指示に従って設置および操作しなければなりません、また、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置、連動して操作してはいけません。エンドユーザーおよび設置者は、アンテナ設置手順および RF 被爆コンプライアンスを満たすために送信機の動作条件を提供しなければなりません。

SAR 値: 0.736 W/kg

無線周波数 (RF) 被曝情報

無線装置の放射出力電力は、カナダ産業省 (IC) 無線周波数暴露限界を下回っています。通常動作時、無線装置を人体

への接触の可能性が最小限に抑える方法で使用することが必要です。

本装置は、ポータブル被爆条件で運用される特定のホスト製品内に設置される場合、IC 比吸収率 (「SAR」) 制限について評価され、それに準拠することが示されています。 **(Wi-Fi)**

本装置は、評価され、ポータブル被爆条件下で、IC RF 被曝制限について評価され、それに準拠することが示されています。(アンテナは、人体から 20 cm 以内にあります)。 **(Bluetooth の場合)**

NCC 警語:

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。(即低功率電波輻射性電機管理辦法第十二條)

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。(即低功率電波輻射性電機管理辦法第十四條)

1. はじめに

1.1 製品紹介

このたびはバーコードプリンタをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本プリンタは、ダイキャストアルミニウムのシャーシおよびプリンター機構と、大型クリアメディアビューウィンドウ付きの金属カバーで設計されており、工業環境や工業用途の過酷な作業にも対応します。

バックライト付きグラフィック LCD ディスプレイでプリンタの状態を管理し、より簡単に操作することができます。可動センサー設計によって、広範なラベルメディアに対応します。最も頻繁に使用されるバーコード形式すべてを利用できます。フォントとバーコードは 4 方向のいずれにも印字可能です。

本プリンタは、高品質かつ高性能の MONOTYPE IMAGING® True Type フォントエンジンと 1 種類の CG Triumvirate Bold Condensed スムーズフォントを内蔵しています。柔軟なファームウェア設計によって、True Type フォントを PC からプリンターのメモリにダウンロードしてラベル印字に使用することもできます。スケラブルフォントに加え、5 つの異なるサイズの英数字ビットマップフォント、OCR-A フォント、OCR-B フォントを提供します。本製品は、豊富な機能を備え、優れたコスト効率と性能を誇るクラス最高のプリンタです。

- 用途
 - 業務用印字
 - コンプライアンスラベリング
 - 仕掛り管理
 - 注文処理
 - 流通
 - 配送／受領
 - ヘルスケアラベリングおよび患者安全
 - 電子製品および宝石類ラベリング

1.2 製品機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

機能	モデル	BBP®16M
解像度		600ドット/インチ (24ドット/mm)
印字方式		熱転写式および感熱式
印字速度 (インチ/秒)		1.5,2,3...6 ips 最大 6 IPS
最大印字幅		104 mm (4.09")
メディアの左端から最初に印字できるドット位置		約 1 mm
最大印字長		2540 mm (100")
外形寸法		W 276 x D 502 x H 326 mm
重量		15.43 kg (34.02 lbs)
梱包の寸法		L 633 x W 403 x H 466 mm
ラベルロール容量		8" OD; 1.5" ~ 3" ID core
プロセッサ		32ビット RISC ハイパフォーマンスプロセッサ
メモリ		<ul style="list-style-type: none"> 512MB フラッシュメモリ 256MB SDRAM USB デバイスメモリ (FAT32) マイクロ SD カード、最大 32 GB
Interface(インターフェイス)		<ul style="list-style-type: none"> RS-232 (最大 115,200 bps) USB 2.0 (ハイスピードモード) 内部イーサネット (100Mbps) USB ホスト *2 (フロント側)、USB ストレージデバイスの接続
付属電源アダプタ		内蔵スイッチング電源アダプタ <ul style="list-style-type: none"> 入力: AC 100 ~ 240V、4 ~ 2A、50 ~ 60Hz 出力: DC 5V、5A; DC 24V、7A; DC 36V、1.4A; 合計 243W
LCD ディスプレイ/ 操作ボタン		<ul style="list-style-type: none"> 多言語選択可能 大型バックライト LCD ディスプレイ (16 ビットカラー、解像度 480 x 272、抵抗膜方式タッチスクリーン) 6 つの操作ボタン (メニュー、選択、上、下、左/一時停止、右/フィード) 1 つの LED (2 つの LED/緑と赤)

センサー	<ul style="list-style-type: none"> ギャップ透過式センサー (位置調整可能, 0mm -> 92mm) ブラックマーク反射式センサー (位置調整可能, 0mm -> 85.4mm) トップブラックマークセンサーの切り替え可能な(プリンターディスプレイ上)設定付き リボンエンドセンサー(透過式) リボンエンコードセンサー ヘッドオープンセンサー メディアニアエンドセンサー
フォント&バーコード回転	0, 90, 180, 270 度
コマンドセット	TSPL-EZ™(EPL, ZPL, ZPL II, DPL と互換性があります)
メディアタイプ	連続、ダイカット、ブラックマーク、ファンフォールド、ノッチ
メディア巻きタイプ	印刷面外巻
メディア幅	15 mm ~ 114 mm
メディア厚み	0.06 ~ 0.28 mm
メディアコア直径	1.5 インチ (38.1 mm) ~3 インチ (76.2 mm)
ラベル長	5 mm ~
ギャップ高	最小 2 mm
ブラックマーク	最小 8 mm (幅) x 2 mm (高さ)
リボン外径	最大 90 mm
リボン長	600 メートル
リボン幅	25.4 mm ~ 114.3 mm (1 ~ 4.5 インチ)
環境条件	動作: 0 ~ 40 °C (32 ~ 104°F), 25~85% 結露なし 保管: -40 ~ 60 °C (-40 ~ 140°F), 10~90% 結露なし
環境への配慮	RoHS, WEEE, Reach, Prop65, including China RoHS and Taiwan RoHS
アクセサリ	<ul style="list-style-type: none"> Windows ドライバーCD クイックインストールガイド ユーザーマニュアル USB ケーブル 電源コード
RTC & ブザー	標準

2. 操作概要

2.1 開梱と検査

このプリンタは、輸送時に損傷しないよう特別に梱包されています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐに梱包とプリンタを注意深く点検してください。プリンタを再輸送する場合に備えて、梱包材は大切に保管してください。

プリンタの箱には以下のものが同梱されています。

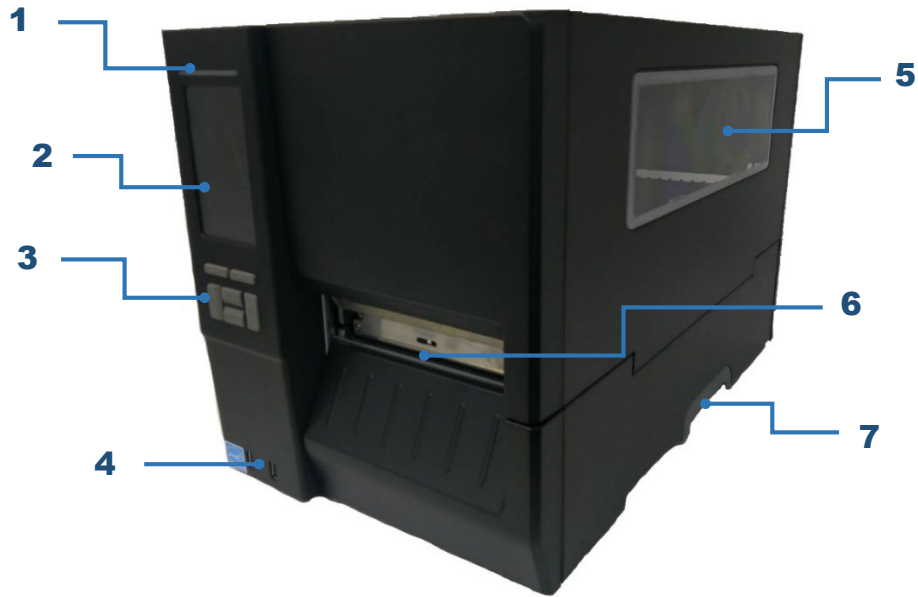
- プリンタ本体 x 1
- Windows ドライバ、ユーザーマニュアル(日本語)が含まれた製品説明 CDx 1
- クイックインストールガイド x 1
- 電源コード x 1
- USB インターフェイスクーブル x 1
- 保証書/返信用封筒

部品が不足している場合は、日本ブレイディ株式会社のカスタマーサービス部(042-655-2533)にご連絡ください。

注意: 本プリンタ付属の電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

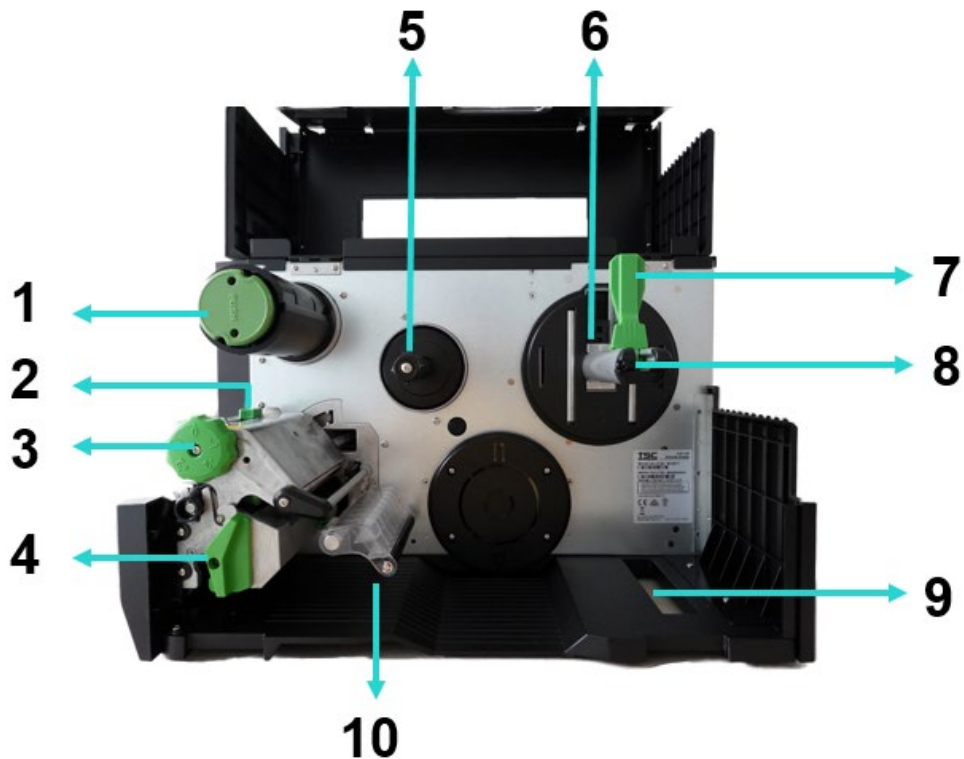
2.2 プリンタ概要

2.2.1 正面図

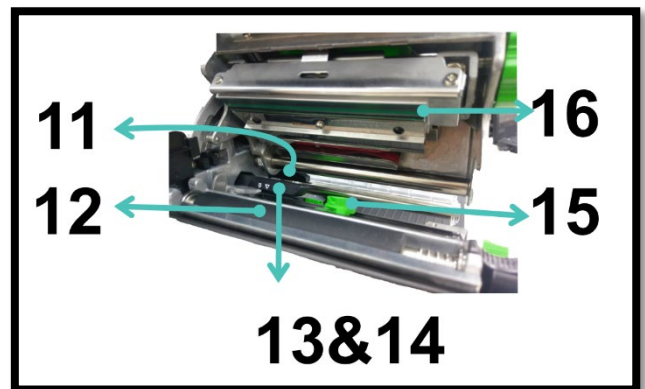


1. LED 表示ランプ
2. タッチスクリーン
3. 操作ボタン
4. USB ホスト x 2
5. メディアビューウィンドウ
6. 排紙シュート
7. プリンタカバー

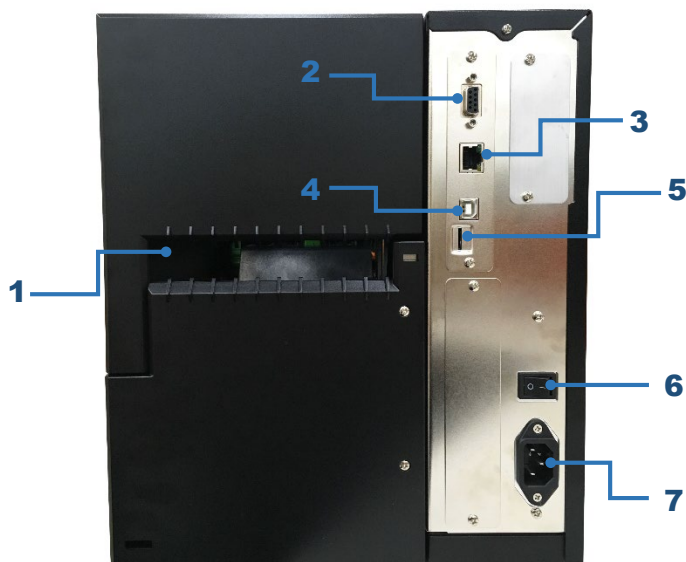
2.2.2 内部図



1. リボン巻き取りスピンドル
2. プリントヘッド圧力位置調整ノブ
3. プリントヘッド圧力調節ノブ
4. プリントヘッドリリースレバー
5. リボンサプライスピンドル
6. メディアニアエンドセンサー
7. ラベルロールガード
8. ラベルサプライスピンドル
9. 外部ラベル挿入口シュート
10. ダンパー
11. リボンセンサー
12. プラテンローラー
13. ブラックマークセンサー (↓として表示)
14. ギャップセンサー (▽として表示)
15. フロントラベルガイド
16. プリントヘッド



2.2.3 背面図



1. 外部ラベル挿入口シュート
2. RS-232C インターフェイス
3. イーサネットインターフェイス
4. USB インターフェイス
5. *マイクロ SD カードスロット
6. 電源スイッチ
7. 電源コードソケット

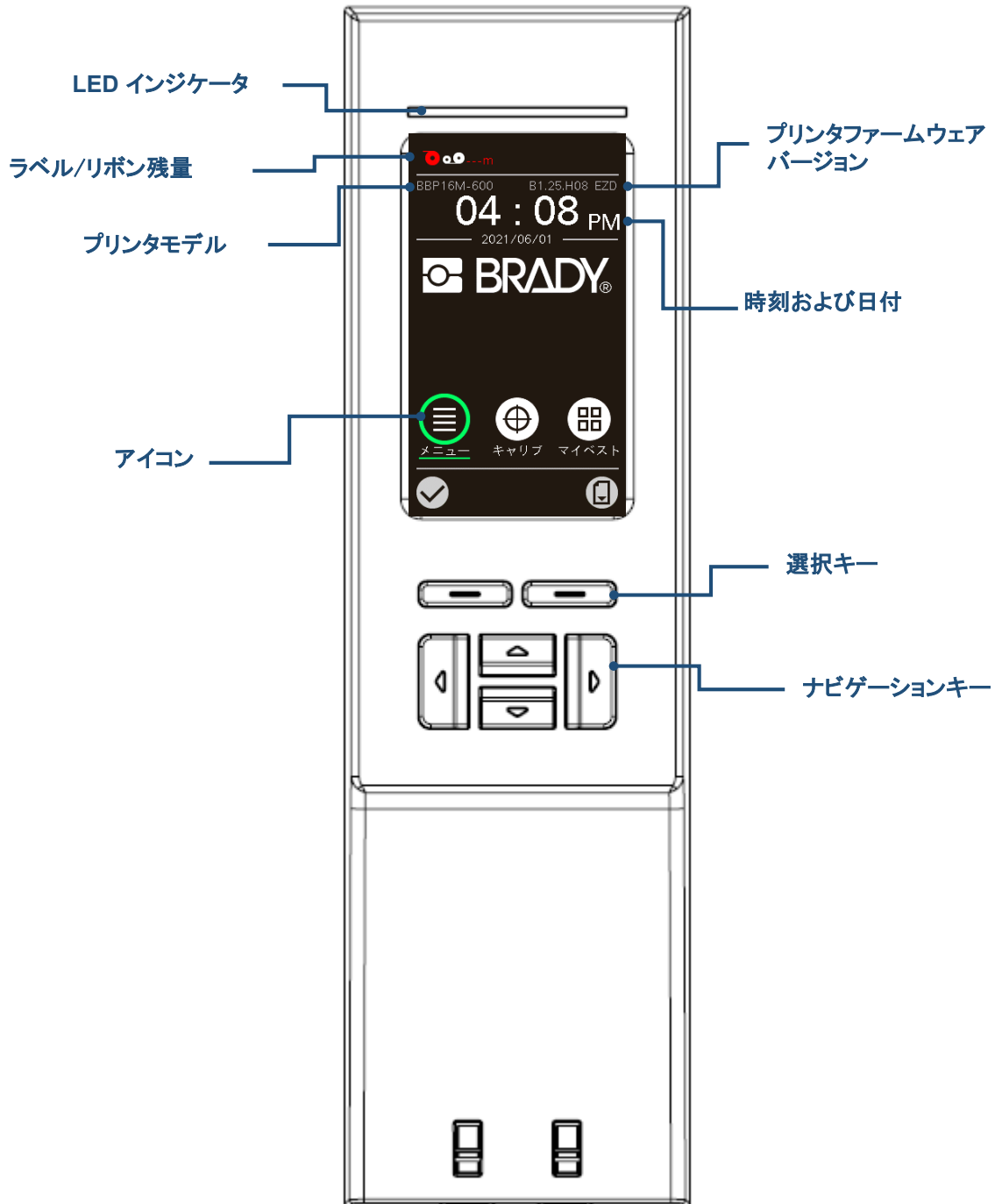
注意:
このインターフェイス画像は参照用です。インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください。

* 推奨 MicroSD カードの仕様



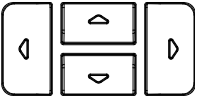
タイプ	マイクロ SD カード仕様	マイクロ SD カード容量	認定マイクロ SD カード製造元
マイクロ SD	V2.0 クラス 4	4 G	Transcend
	V2.0 クラス 4	8 G	Transcend
	V3.0 クラス 10 UHS-I	16 G	Transcend
	V3.0 クラス 10 UHS-I	32 G	Transcend
	V3.0 クラス 10	16 G	Kingston
	V2.0 クラス 4	16 G	Scandisk
	V3.0 クラス 10 UHS-I	16 G	Scandisk

- DOS FAT ファイルシステムは、マイクロ SD カードに対応しています。
 - マイクロ SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは、8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。
 - ミニ SD/SD カードアダプタが必要です。

2.3 オペレータコントロール





2.3.1 LED 表示およびキー

LED	ステータス	表示	
	緑	点灯	これは電源がオンで、装置の準備ができていることを示します。
		点滅	これは、装置がデータを PC からメモリへダウンロード中か、またはプリンタが一時停止中であることを示します。
	黄色	これは装置がプリンタからデータを消去中であることを示します。	
	赤	点灯	プリントヘッドが開いているための、カッターエラーを示します。
点滅		ヘッドが開いていること、用紙切れ、紙の詰まり、またはメモリーエラーなどの印字エラーを示します。	
キー		機能	
選択キー 		タッチパネルの下段の表示は選択画面によって機能が変化します。	
ナビゲーションキー 		アイコンやメニューの選択、ユーザーインターフェースのナビゲーションに使用します。	

2.3.2 メイン画面のアイコン

表示アイコン	表示
	イーサネット接続済み
	メディア容量アラート
	リボン容量 アラート
	プリントヘッド清掃アラート
	セキュリティロック
アイコンボタン	機能
	メニューを入力
	メディアエンドセンサーを校正
	「マイベスト」オプションを表示
	緑色にハイライトされたカーソルで選択されたオプションを確定
	フィードボタン(ラベルをひとつ進めます)

2.3.3 パワーオン・ユーティリティ

プリンタハードウェアを設定しテストするための6つのパワーオン・ユーティリティがあります。これらのユーティリティは、選択キーの右側 ( ) ボタンを押したまま、プリンタの電源を入れると同時に、違うステータスのLEDでボタンを同時に放すことで起動します。

各種のパワーオン・ユーティリティについては以下のステップに従ってください。

1. プリンタ電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. LED が異なる機能を異なるステータスを表示したら、ボタンを放します。

設定の順序:

機能 (LCD モニターに表示)	LED カラー	LED は次のように変化します:						
		オレンジ	赤 (点滅5回)	オレンジ (点滅5回)	緑 (点滅5回)	緑/オレンジ (点滅5回)	赤/オレンジ (点滅5回)	緑 (点灯)
1. リボンセンサー校正およびギャップ/ブラックマークセンサー校正(センサーキャリブ)			放す					
2. ギャップ/ブラックマークセンサー校正、セルフテスト、およびダンプモードに入る(セルフテスト)				放す				
3. プリンタの初期化(工場出荷)					放す			
4. ブラックマークセンサーをメディアエンドセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する(マークキャリブ)						放す		
5. ギャップセンサーをメディアエンドセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する(ギャップキャリブ)							放す	
6. AUTO.BAS をスキップする								放す

3. 設定

3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安定した場所に置きます。
2. 電源スイッチがオフ(O)になっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。

注意: プリンタ電源スイッチを OFF (オフ) にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

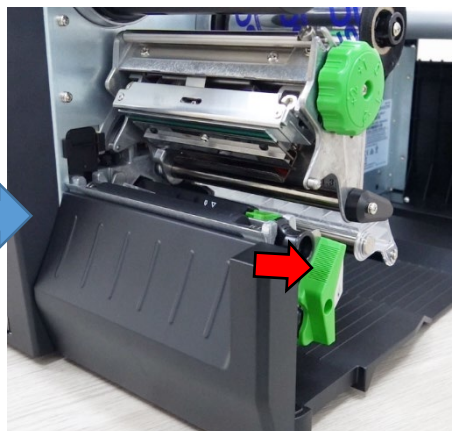
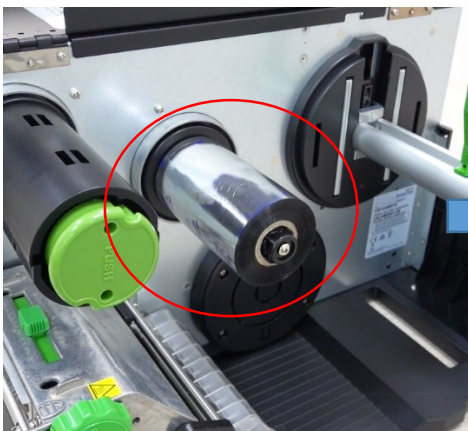
本プリンター付属の電源コードは本プリンター専用です。他の電気製品には使用できません。

3.2 リボンの装着

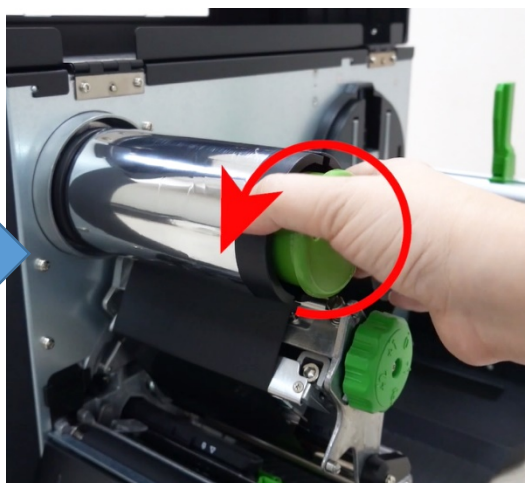
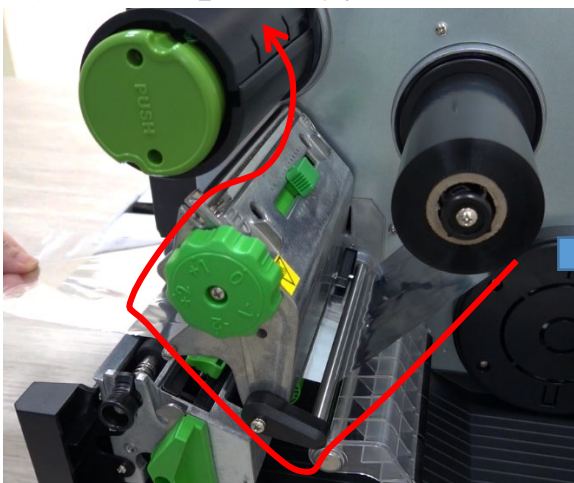
1. プリンタ右側カバーを開けます。



2. リボンサブライスピンドルにリボンを取り付けます。プリントヘッド放すレバーを押してプリントヘッド装置を開けます。

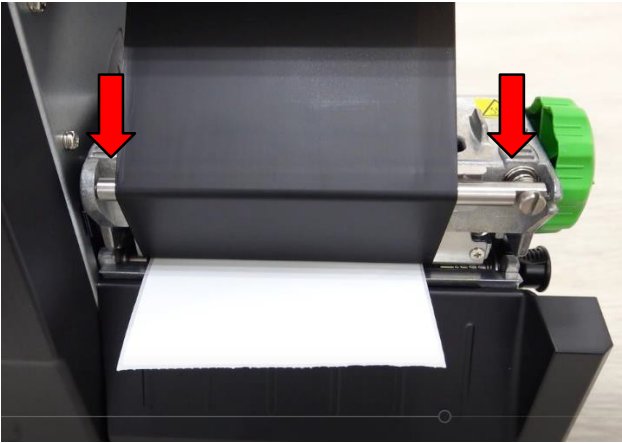


3. リボンガイドの下とリボンセンサスロットにリボンを通します。リボン巻取りスピンドルに、リボン巻取りスピンドルに巻き付けます。リボンが皺なく適度に張るまで、リボンを時計回りの方向に 3~5 回、リボン巻取りスピンドルに巻き付けます。

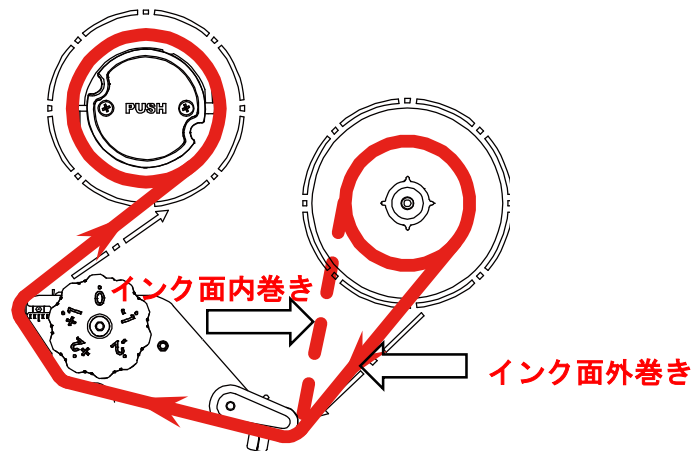


注意: リボンの装着時にリボンリリースボタンを押さないでください。リボンリリースボタンは、リボンを取り外すときに使用します。

4. プリントヘッドリリースレバーの両側を押して、プリントヘッドメカニズムを閉じます。
5. プリントヘッド機構の上部を押して閉じます。

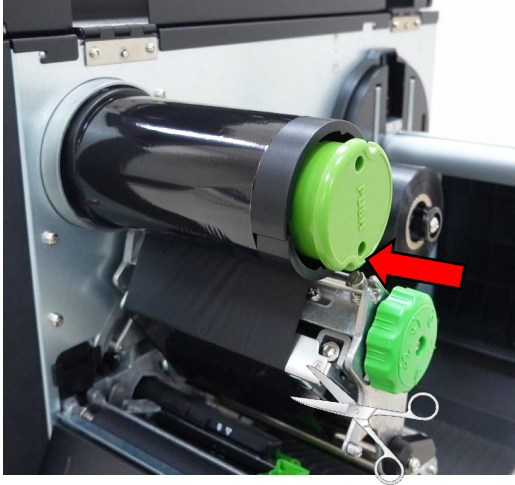


リボン取付け経路:



3.3 使用済みリボンの取り外し

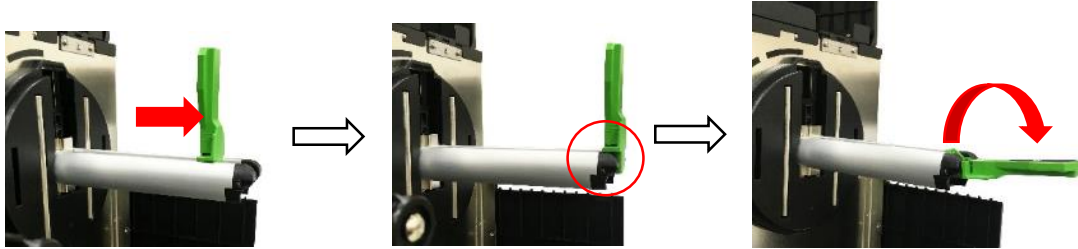
1. リボンガイドプレートとリボン巻き取りスピンドルの間でリボンを切ります。
リボンリリースボタンを押してリボンをスライドさせ、取り外します。



3.4 メディアの取り付け

3.4.1 メディアの取り付け

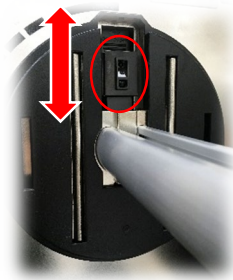
1. プリンタ右側カバーを開けます。
2. ラベルロールガードを水平方向にラベルサプライスピンドルの終わりまで動かし、そこでラベルロールガードを倒します。



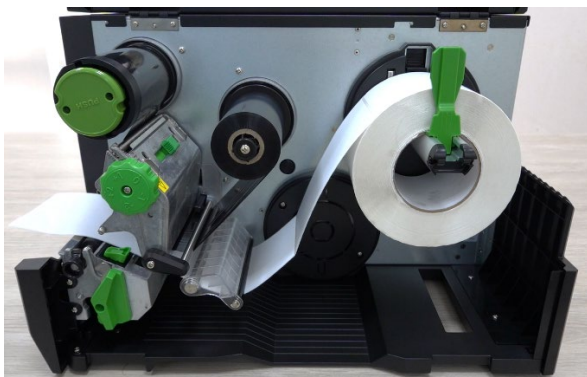
3. メディアロールをラベルサプライスピンドルに置き、ラベルロールガードを使用して固定します。



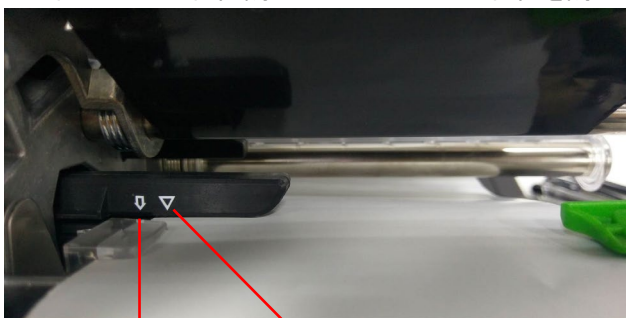
注意:
メディアエンドセンサーは移動可能であり、メディアの残量を検出します。



4. プリントヘッドリリースレバーを押し、プリントヘッド機構を開きダンパーを通りメディアセンサーを通るようにメディアを取り付けます。



5. メディアセンサー位置調整ノブでセンサーの位置を調整します。

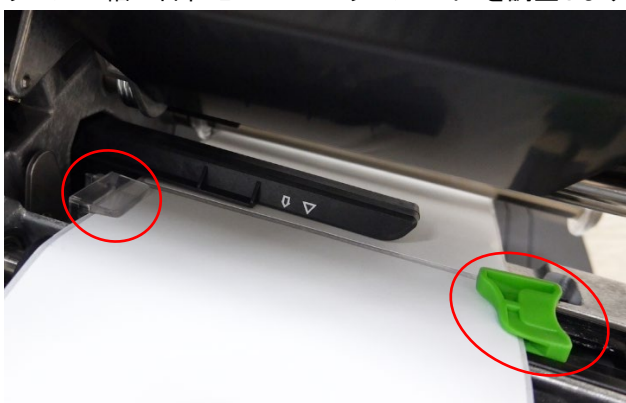


ギャップセンサー
ブラックマークセンサー

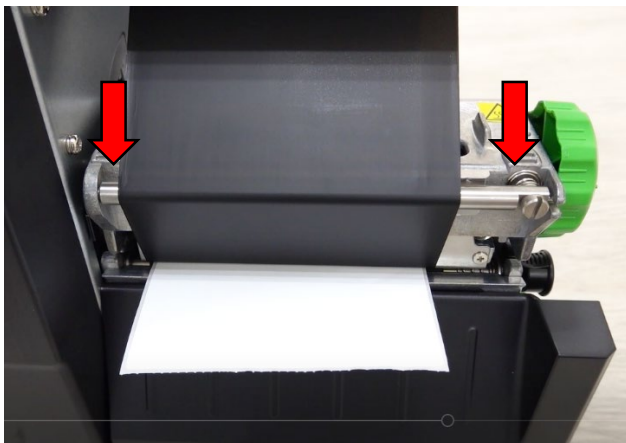
注意:

- センサーの位置は、三角マーク ▽ (ギャップセンサー) および矢印マーク ↓ (ブラックマークセンサー) により、表示されます。
- メディアセンサー位置は、移動可能ですので、メディアギャップ/ブラックマークが検知できる位置にメディアセンサーがあるようにしてください。

6. ラベルの幅に合わせてフロントラベルガイドを調整します。



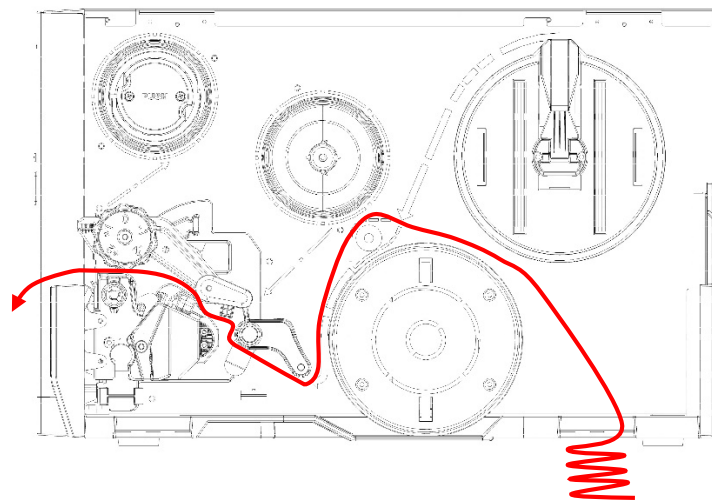
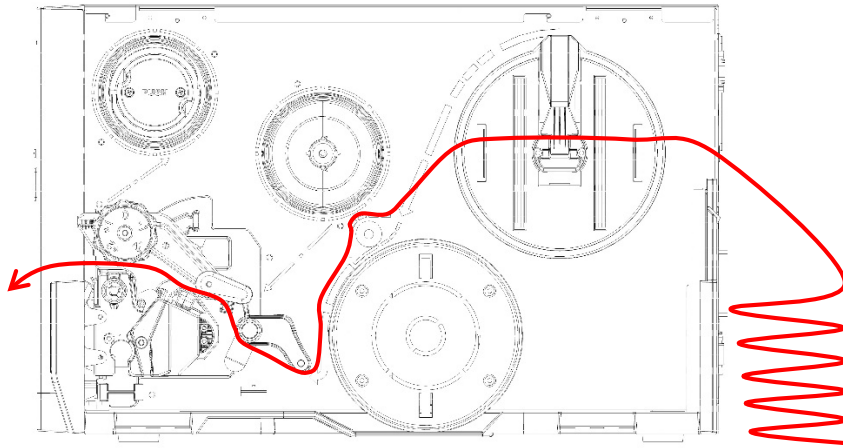
7. プリントヘッド機構を両手で閉じ、留め金がしっかり嵌まっていることを確認します。
メタッチスクリーンのキャリブアイコンをタップしてメディアの種類を選択してセンサーを構成してください。



注意:
メディアを変更する時は、メディアのセンサーを校正してください。

3.4.2 ファンフォールド/外部メディアの取り付け

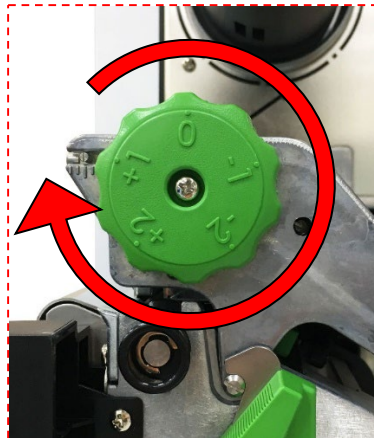
1. プリンタ右側カバーを開けます。
2. メディアを底面あるいは背面の外部ラベル挿入口から通します。
3. メディアの取り付けについては、セクション 3.4.1 のステップ 4 ~ 7 を参照してください。



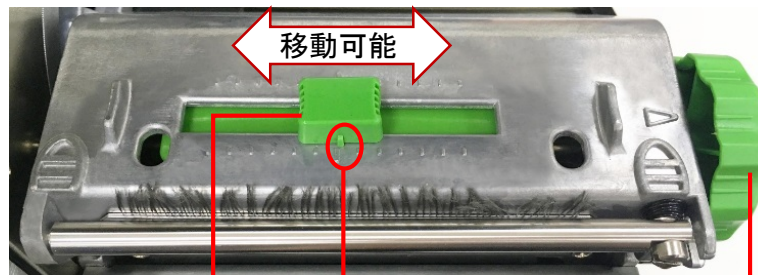
注意:
メディアを変更する時は、メディアのセンサーを校正してください。

4. 調整ノブ

4.1 プリントヘッド圧力調整ノブおよびプリントヘッド圧力位置調整ノブ



プリントヘッド圧力調整ノブには、調整できる5つのレベルがあります。ラベルを正しく印字するには、メディアの幅に応じて異なる圧力を調整する必要があります。したがって、プリントヘッドの圧力調整ノブを調整して、最高の印字品質を得ることが必要な場合があります。



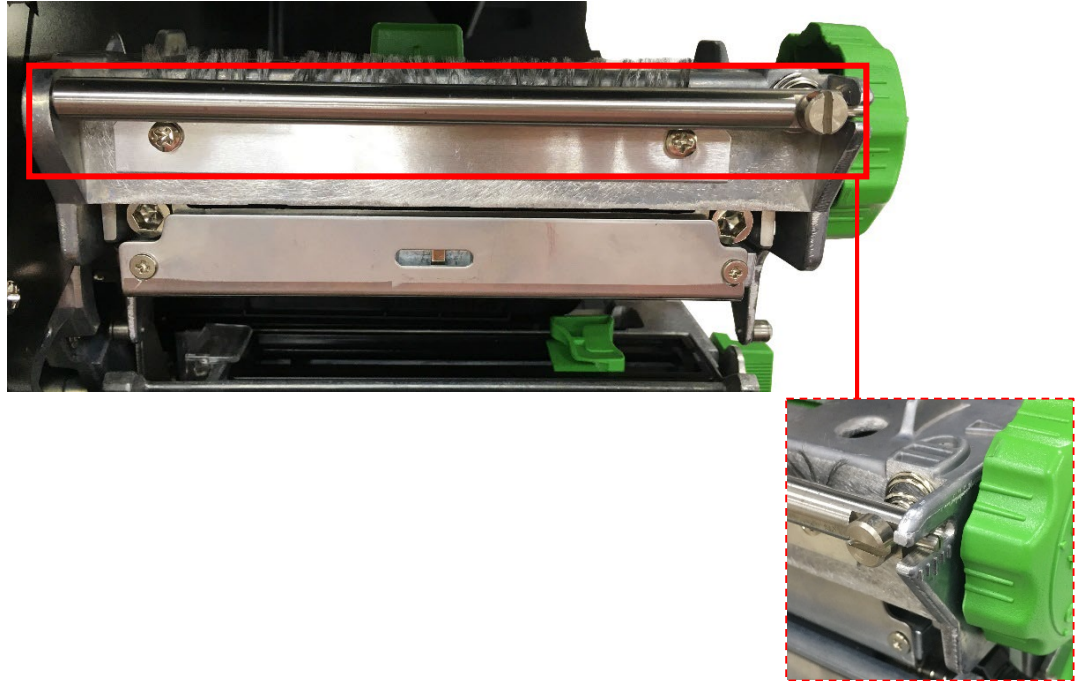
プリントヘッド圧力位置調整
ノブ

デフォルト設定

プリントヘッド圧力調
節ノブ

4.2 リボンテンション調整ノブモジュール



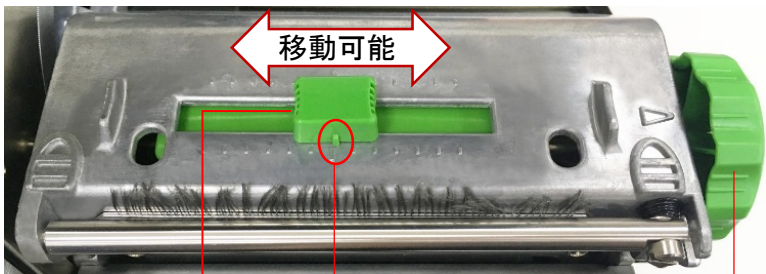
リボンテンション調整ノブは 5 レベルの調整ができます。最高の印字品質を得るためにテンションノブを調整しなければなりません。ユーザーでのリボンテンションノブの調整は推奨していません。ご不明点がありましたら、日本ブレイディ株式会社 技術部までご連絡ください。







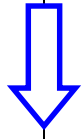
リボンテンション調整ノブ

4.3 リボンの皺を防ぐ機構微調整

このプリンタは発送前に完全な検査を受けています。一般用途印字において、メディア上にリボンの皺が表れることはありません。リボンの皺は、メディアの幅、厚さ、プリントヘッドの圧力バランス、リボンフィルムの特性、印字濃度の設定などに関係します。リボンの皺が発生した場合は、以下の手順に従ってプリンタの部品を調整してください。

<p>調節可能 プリンタモ デル 部品</p>	<p>リボンテンション調整ノブには 5 つの調整目安位置があります。マイナスドライバーを使用して、リボンテンション位置を変更します。</p>  <p>リボンテンション調整ノブ</p>
	<p>プリントヘッド圧力調整ノブには、5 つの設定レベルがあります。プリントヘッド圧力調整ノブを切り替え、プリントヘッド圧力位置調整ノブと協働して、プリントヘッドの圧力位置を調整します。</p>  <p>プリントヘッド圧力調整ノブ</p>  <p>移動可能</p> <p>プリントヘッド圧力位置調整ノブ</p> <p>デフォルト設定</p> <p>プリントヘッド圧力調節ノブ</p>


<p>問題点 (皺の例)</p>	<p>1. ラベルの左下から右上にかけて皺が発生する</p> 	<p>2. ラベルの右下から左上にかけて皺が発生する</p> 
<p>調整方法</p>	<p>ラベルの皺が左下から右上にかけて入る場合は、次のように調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リボンテンション調整ノブを1レベルごとに時計回りに回して、ラベルをもう一度印字して、皺がなくなったことを確認します。  <p>2. リボンテンション調整ノブが最も内側に位置しても、リボンの皺が改善されなかった場合は、プリントヘッド圧力位置調整ノブを1レベルごとに切り替えて、ラベルをもう一度印字して、皺がないかどうかを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> プリントヘッドの圧力位置調整ノブを切り替えてもリボンの皺が改善できない場合は、プリントヘッドの圧力調整ノブをもう一度1レベルごとに調整して、皺がなくなるかを確認します。 	<p>ラベルの皺が右下から左上にかけて入る場合は、次のように調整してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> リボンテンション調整ノブを1レベルごとに反時計回りに回して、ラベルをもう一度印字して、皺がなくなったことを確認します。  <p>2. リボンテンション調整ノブが最も外側に位置しても、リボンの皺が改善されなかった場合は、プリントヘッド圧力位置調整ノブを1レベルごとに切り替えて、ラベルをもう一度印字して、皺がないかどうかを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> プリントヘッドの圧力位置調整ノブを切り替えてもリボンの皺が改善できない場合は、プリントヘッドの圧力調整ノブをもう一度1レベルごとに調整して、皺がなくなっているかどうかを確認してください。



Feed direction

5. LCD メニュー機能

5.1 メニューを開く

LCD メインページの「 Menu (メニュー)」アイコンをタップして、メニューを開きます。

5.2 メニュー概要

メニューには 6 つのカテゴリがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。



この「設定」カテゴリでは、TSPL および ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



この「センサー」オプションを使用して、選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することを推奨いたします。



この「通信ポート」オプションを使用して、プリンタインターフェイス設定を設定します。



この「アドバンスト」オプションを使用して、プリンタ LCD 設定、カッタータイプ、メディア低警告設定 %などを設定します。



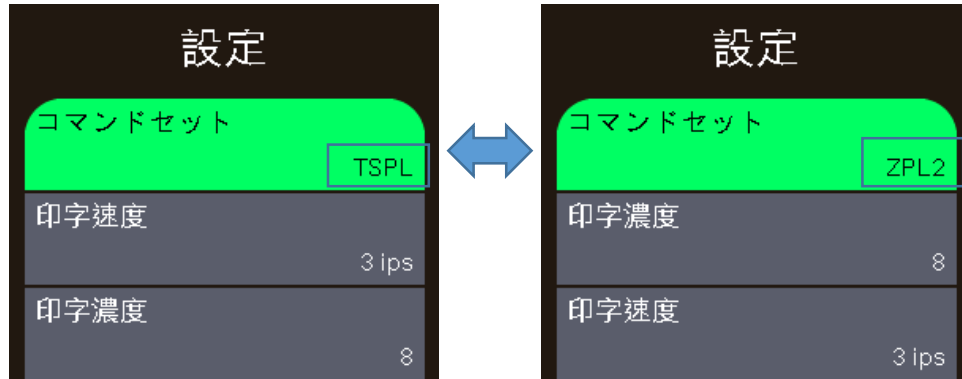
この「ファイル管理」オプションを使用して、プリンタの利用可能なメモリを確認/管理します。



この「プリンタ診断」オプションを使用して、プリンタを確認し、問題およびその他の問題をトラブルシューティングします。

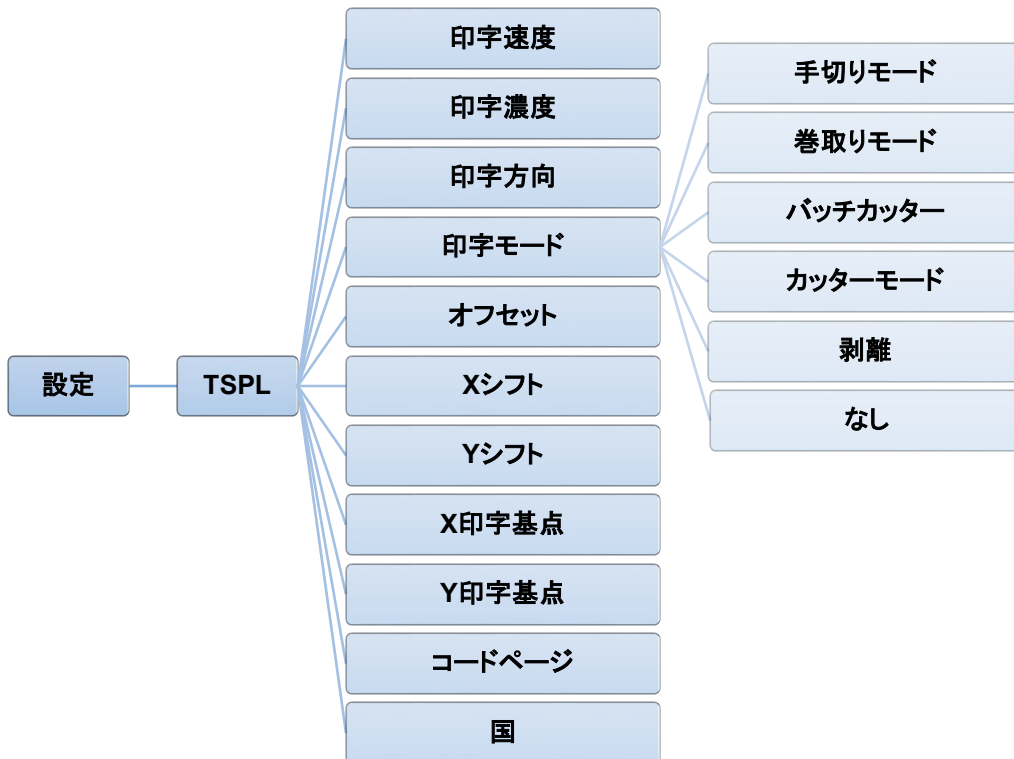
5.3 設定

LCD 上の「Command Set(コマンドセット)」項目をタップして TSPL と ZPL2 を切り替えます。またはナビゲーションキーを使用して「Command Set(コマンドセット)」アイテムを選択し、右側のソフトキーを押して TSPL と ZPL2 を切り替えます。



5.3.1 TSPL

この「TSPL」カテゴリでは、TSPL 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



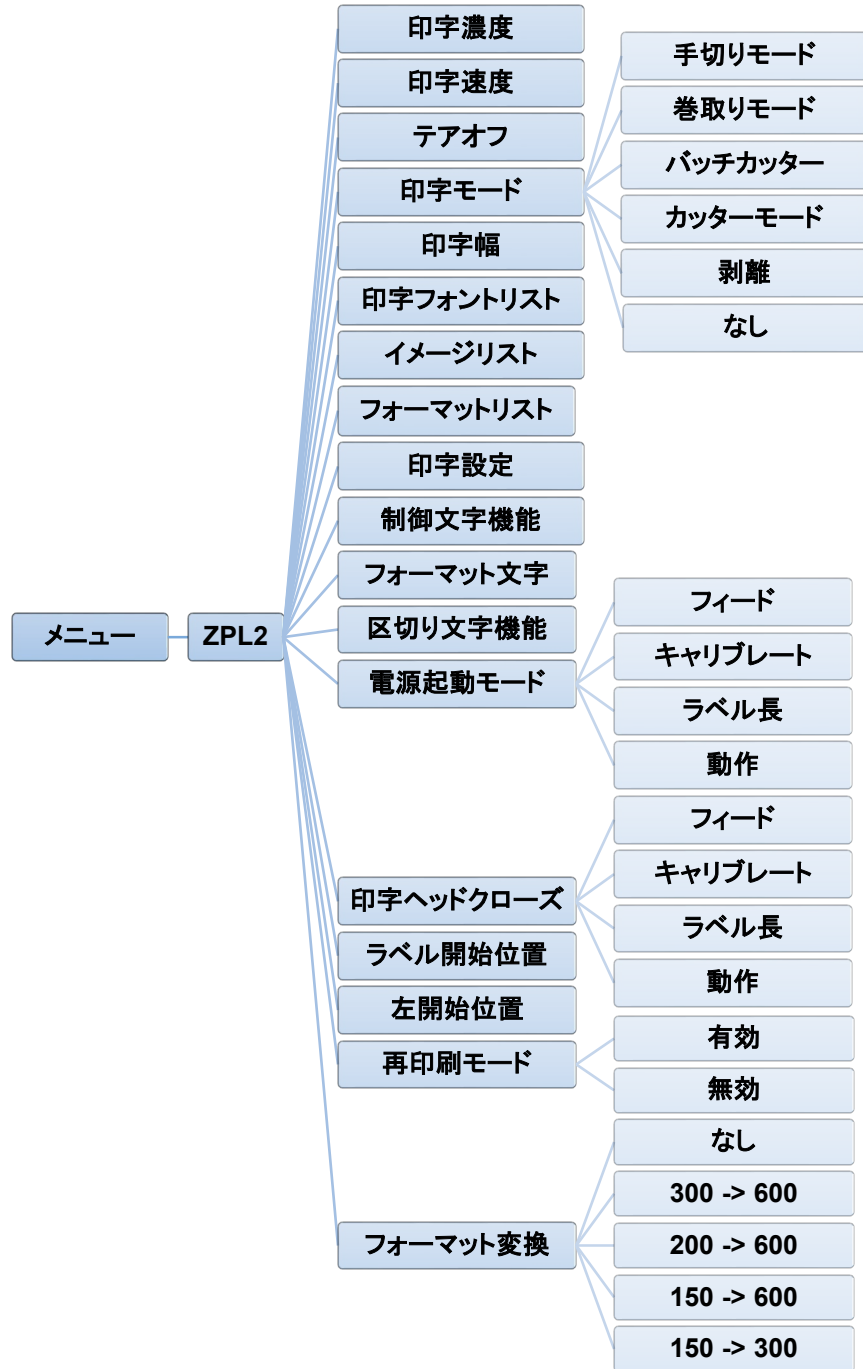
アイテム	説明	デフォルト														
Speed 速度	印字速度を設定します。使用可能な設定範囲は 1.5 ~ 6 (600 dpi) です。(※1.5、2、3、4、5、6)	600 dpi: 3														
Density 濃度	このオプションを使用して印字濃度を設定します。設定可能な範囲は、0~15 です。ご使用するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	8														
Direction 方向	<p>方向設定値は 0 または 1 です。印字方向を設定します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">方向 0</th> <th style="width: 50%;">方向 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">Direction</td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">Direction</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓ フィード</p>	方向 0	方向 1	Direction	Direction	0										
方向 0	方向 1															
Direction	Direction															
Print mode 印字モード	<p>印字モードを設定します。以下の 6 つのモードがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>プリンタモード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None (なし)</td> <td>次に印字されるラベルトップがプリントヘッド位置に止まります。</td> </tr> <tr> <td>Cutter Batch (手切りモード)</td> <td>印刷ジョブの最後のラベルをカットします。</td> </tr> <tr> <td>Cutter Mode (カッターモード)</td> <td>カッターモードを有効にします。</td> </tr> <tr> <td>Rewinder Mode (巻き取りモード)</td> <td>ラベル巻き戻しモードを有効にします。</td> </tr> <tr> <td>Peeler Mode (剥離モード)</td> <td>剥離モードを有効にします。</td> </tr> <tr> <td>Batch Mode (バッチモード)</td> <td>最後に印字されたラベルが手切り位置で止まります。</td> </tr> </tbody> </table>	プリンタモード	説明	None (なし)	次に印字されるラベルトップがプリントヘッド位置に止まります。	Cutter Batch (手切りモード)	印刷ジョブの最後のラベルをカットします。	Cutter Mode (カッターモード)	カッターモードを有効にします。	Rewinder Mode (巻き取りモード)	ラベル巻き戻しモードを有効にします。	Peeler Mode (剥離モード)	剥離モードを有効にします。	Batch Mode (バッチモード)	最後に印字されたラベルが手切り位置で止まります。	手切りモード
プリンタモード	説明															
None (なし)	次に印字されるラベルトップがプリントヘッド位置に止まります。															
Cutter Batch (手切りモード)	印刷ジョブの最後のラベルをカットします。															
Cutter Mode (カッターモード)	カッターモードを有効にします。															
Rewinder Mode (巻き取りモード)	ラベル巻き戻しモードを有効にします。															
Peeler Mode (剥離モード)	剥離モードを有効にします。															
Batch Mode (バッチモード)	最後に印字されたラベルが手切り位置で止まります。															
Offset オフセット	メディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値範囲は、-600 ~ 600 ドットです。	0 dot														
Shift X X シフト	印字位置を微調整します。利用可能な設定値範囲は、-600 ~ 600 ドットです。	0 dot														
Shift Y Y シフト		0 dot														

Reference X X 印字基点	基点を設定するために使用します。利用可能な設定値範囲は、0 ~ 999ドットです。	0 dot
Reference Y 基準 Y		0 dot
Code page コードページ	このアイテムを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。	850
Country 国	このオプションを使用して、国コードを設定します。利用可能な設定値は、1 ~ 358 です。	001

注記: データ送信時、プリンタ本体の設定値は、プリンタドライバー設定値に上書きされます。


5.3.2 ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Darkness 濃度	このアイテムを使用して印字濃度を設定します。利用可能な設定値は、0 ~ 30 です。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	16

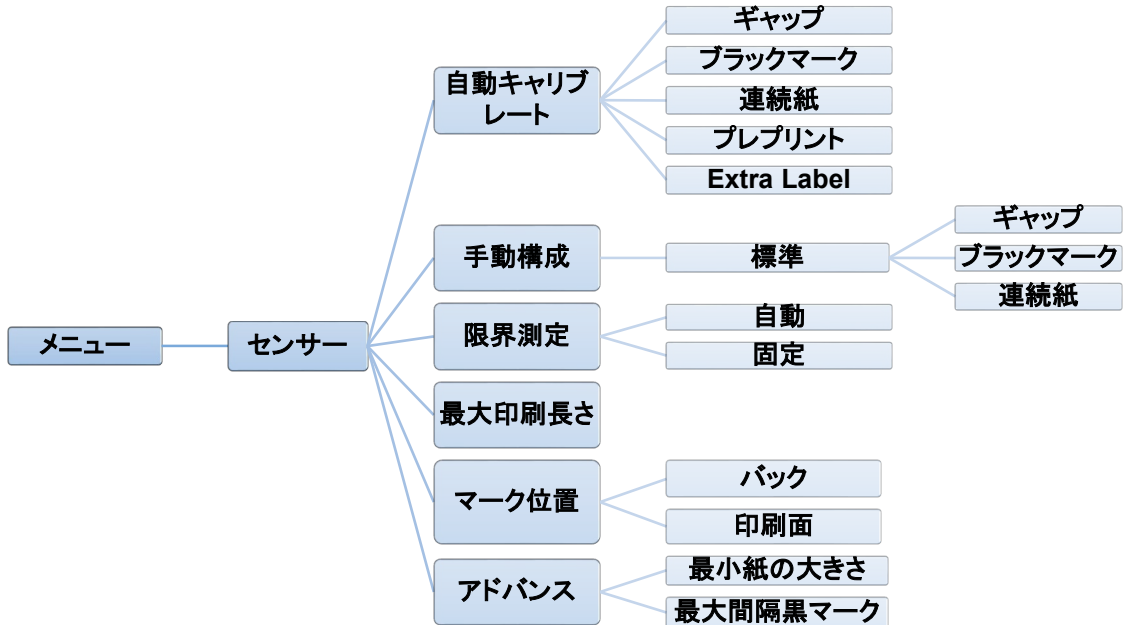
Print Speed 印字速度	このアイテムを使用して印字速度を設定します。使用可能な設定範囲は 1.5 ~6 (600dpi) です。	600 dpi: 3										
Tear Off テアオフ	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値範囲は、-120 ~ 120ドットです。	0 dot										
Print mode 印字モード	<p>このアイテムを使用して印字モードを設定します。以下の 3 つのモードがあります、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プリンタモード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cutter Batch (手切りモード)</td> <td>印刷ジョブの最後のラベルをカットします。</td> </tr> <tr> <td>Cutter Mode (カッターモード)</td> <td>カッターモードを有効にします。</td> </tr> <tr> <td>Rewinder Mode (巻き取りモード)</td> <td>ラベル巻き戻しモードを有効にします。</td> </tr> <tr> <td>Peeler Mode (剥離モード)</td> <td>剥離モードを有効にします。</td> </tr> </tbody> </table>	プリンタモード	説明	Cutter Batch (手切りモード)	印刷ジョブの最後のラベルをカットします。	Cutter Mode (カッターモード)	カッターモードを有効にします。	Rewinder Mode (巻き取りモード)	ラベル巻き戻しモードを有効にします。	Peeler Mode (剥離モード)	剥離モードを有効にします。	手切りモード
プリンタモード	説明											
Cutter Batch (手切りモード)	印刷ジョブの最後のラベルをカットします。											
Cutter Mode (カッターモード)	カッターモードを有効にします。											
Rewinder Mode (巻き取りモード)	ラベル巻き戻しモードを有効にします。											
Peeler Mode (剥離モード)	剥離モードを有効にします。											
Print Width 印字幅	印字幅を設定します。利用可能な範囲は、2 ~ 2496ドットです。	2400 dot										
List Fonts 印字フォントリスト	現在プリンタで使用できるフォントのリストをラベルに印字します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	N/A										
List Images 印刷イメージリスト	この機能を使用して、現在プリンタで使用できる画像のリストをラベルに印字します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	N/A										
List Formats 印字フォーマットリスト	現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印字します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	N/A										
List Setup 印刷設定	プリンタの設定をラベルに印字します。	N/A										
Control Prefix 制御文字機能	コントロールプレフィックス文字を設定します。	7E(~)										
Format Prefix フォーマット文字	フォーマットプレフィックス文字を設定します。	5E(^)										
Delimiter Char 区切り文字機能	この機能を使用して区切り文字を設定します。	2C(,)										

<p>Media Power Up 電源起動モード</p>	<p>プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="483 384 1218 632"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィード</td> <td>プリンタはラベルをひとつ進めます。</td> </tr> <tr> <td>キャリブプレート</td> <td>プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。</td> </tr> <tr> <td>ラベル長</td> <td>プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。</td> </tr> <tr> <td>動作なし</td> <td>プリンタはメディアを動かしません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択肢	説明	フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます。	キャリブプレート	プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。	ラベル長	プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。	動作なし	プリンタはメディアを動かしません。	<p>動作なし</p>
選択肢	説明											
フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます。											
キャリブプレート	プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。											
ラベル長	プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。											
動作なし	プリンタはメディアを動かしません。											
<p>Head Close ヘッドクローズ</p>	<p>プリンタのヘッドを閉じた際のメディアの動きを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="483 892 1218 1140"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィード</td> <td>プリンタはラベルをひとつ進めます。</td> </tr> <tr> <td>校正</td> <td>プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。</td> </tr> <tr> <td>長さ</td> <td>プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。</td> </tr> <tr> <td>アクションなし</td> <td>プリンタはメディアを動かしません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択肢	説明	フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます。	校正	プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。	長さ	プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。	アクションなし	プリンタはメディアを動かしません。	<p>動作なし</p>
選択肢	説明											
フィード	プリンタはラベルをひとつ進めます。											
校正	プリンタはセンサーの感度を校正し、長さを測定して、ラベルを送ります。											
長さ	プリンタは長さを測定して、ラベルを送り込みます。											
アクションなし	プリンタはメディアを動かしません。											
<p>Label Top ラベル開始位置</p>	<p>ラベルの印字位置を垂直方向に調整するために使用します。範囲は、-240 ~+240 ドットです。</p>	<p>0</p>										
<p>Left Position 左開始位置</p>	<p>ラベルの位置を水平方向に調整するために使用します。範囲は、-9999 ~+9999 ドットです。</p>	<p>0</p>										
<p>Reprint Mode 再印刷モード</p>	<p>プリンタのコントロールパネルにあるナビゲーションキー  をおすことで印刷したラベルを再発行することができます。</p>	<p>無効</p>										
<p>Format Convert フォーマット変換</p>	<p>ビットマップのスケールファクタを選択します。最初の数字は元の dots per inch (dpi) 値です。2 つ目は、変換後の dpi 値です。</p>	<p>なし</p>										

注記: データ送信時、プリンタ本体の設定値は、プリンタドライバー設定値に上書きされます。

5.4 センサー

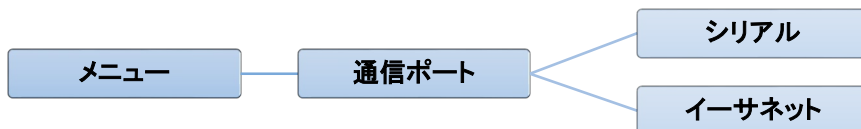
このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印字の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
Auto Calibration 自動キャリブレーション	ラベルを送ってセンサー感度を自動的に校正します。	N/A
Manual setup 手動校正	「自動キャリブレート」をメディアに適用できない場合は、「手動キャリブレート」機能を使用して、センサー感度を校正してください。	N/A
Threshold Detect 限界測定	センサー感度を設定するために使用します。	自動
Maximum Length 最大印刷長さ	使用するラベルの最大長を設定するために使用されます。	254 mm
BMark Transmitter マーク位置	ブラックマークセンサーを上向きまたは下向きに設定します。	バック
Advanced アドバンス	センサー感度を自動校正する場合の最小用紙長と最大ギャップ／BLINE 長を設定できます。	N/A

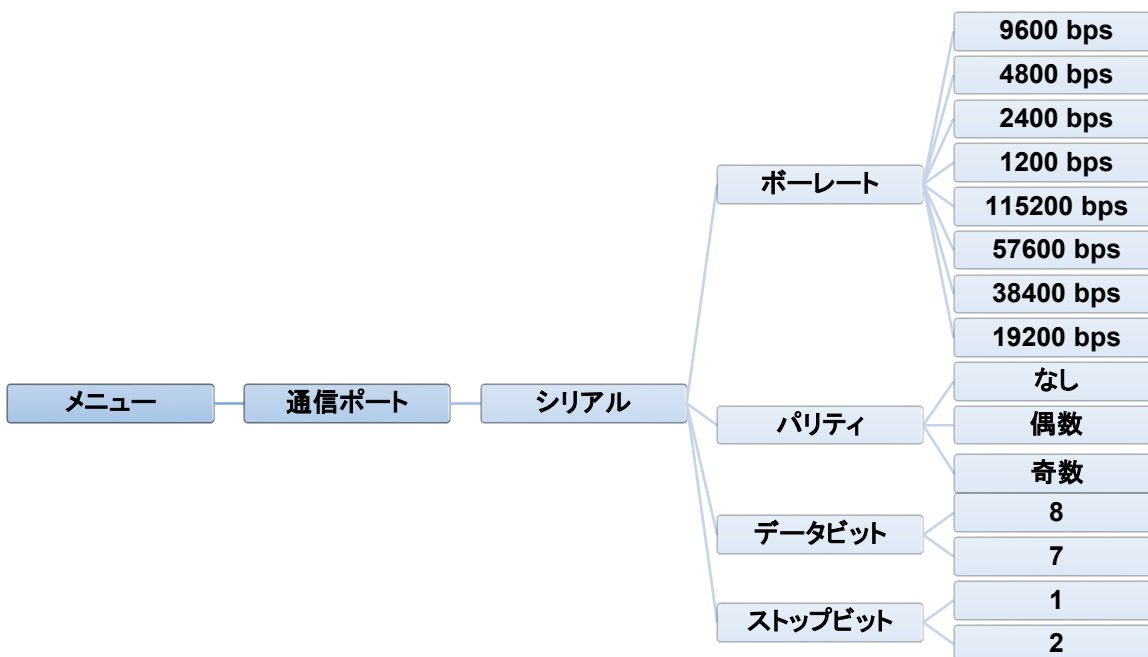
5.5 通信ポート

通信ポート設定を構成するために使用します。



5.5.1 シリアル通信

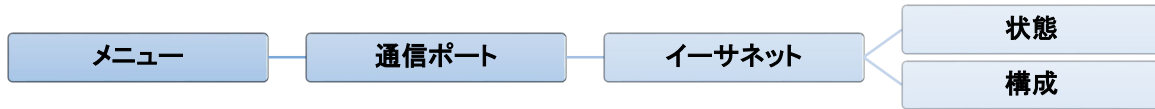
プリンタ RS-232 設定を構成するために使用します。



アイテム	説明	デフォルト
Baud Rate ボーレート	RS-232 ボーレートを設定するために使用します。	9600dpi
Parity パリティ	RS-232 パリティを設定するために使用します。	なし
Data Bits データビット	RS-232 データビットを設定するために使用します。	8
Stop Bit(s) 停止ビット	RS-232 ストップビットを設定するために使用します。	1

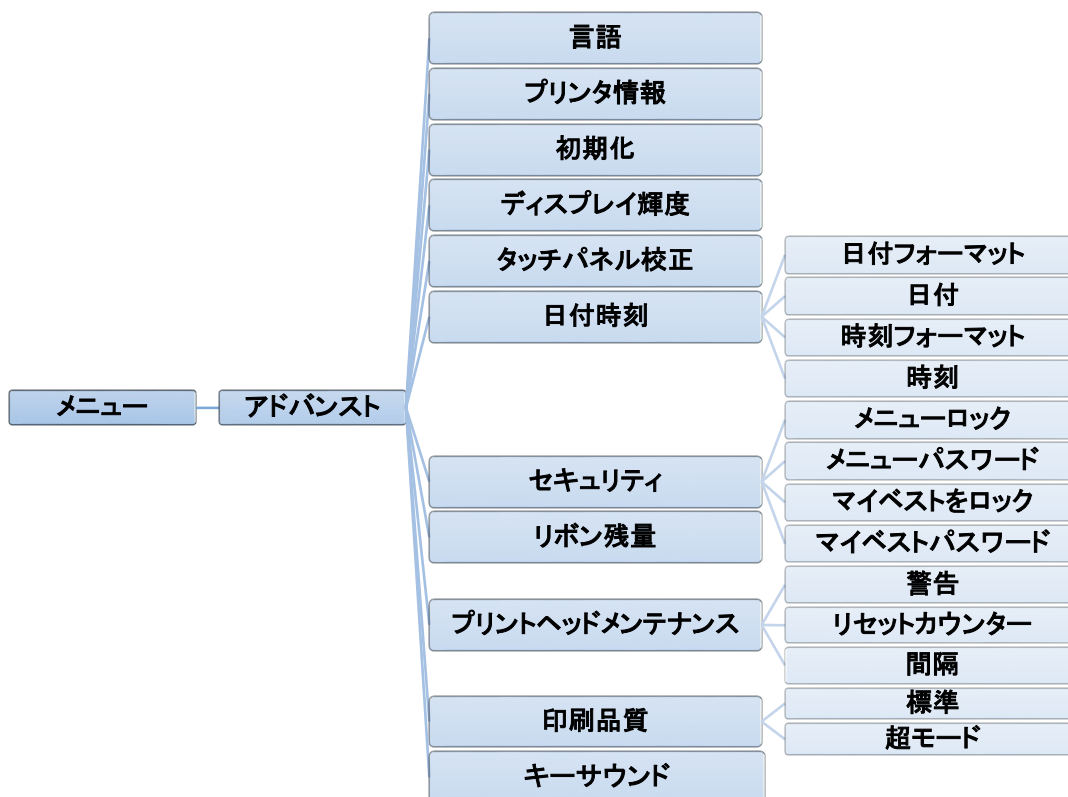
5.5.2 イーサネット

このメニューを使用して、内部イーサネット構成でプリンタのイーサネットモジュールの状態が確認されるように設定し、イーサネットモジュールをリセットします。




アイテム	説明	デフォルト
Status 状態	イーサネット IP アドレスおよび MAC 設定状態を確認するためにこのメニューを使用します。	N/A
Configure 構成	<p>DHCP: DHCP (動的ホスト構成プロトコル) ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。</p> <p>スタティック IP: このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。</p>	DHCP

5.6 詳細



アイテム	説明	デフォルト
Language 言語	ディスプレイの言語設定に使用します。	English
Printer Information プリンタ情報	プリンタのシリアル番号、印字されたマイルージ (m)、ラベル (個) および切断回数を確認するために使用します。	N/A
Initialization 初期化	プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。	N/A
Display Brightness ディスプレイ輝度	ディスプレイの輝度の設定に使用します。(範囲: 0~100)	50
Touchscreen Calibration タッチスクリーン キャリブ	この機能は、最適な状態にするためタッチパネルを校正する時に使用します。	N/A
Date & Time 日付&時刻	この項目は、ディスプレイの時刻と日付を設定する時に使用します。	N/A
Security セキュリティ	メニューまたはお気に入りのロック用パスワードを設定する時に使用します。パスワードのデフォルト値は 8888 です。	無効

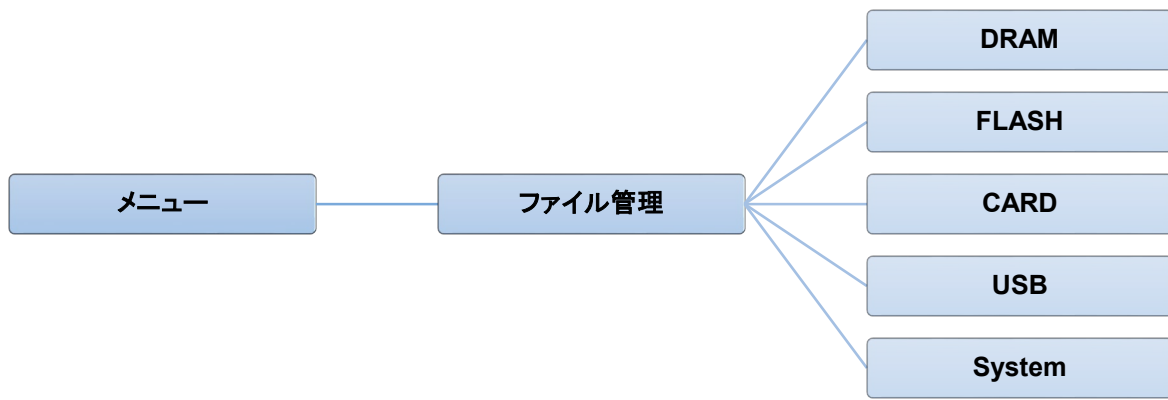
Ribbon Low Warning リボン残量	リボンの警告を低く設定するために使用されます。例えば、設定値が 30m の場合、リボン容量が 30m を下回ると、  が赤色で表示されます。	30 m								
Printer Head Maintenance プリントヘッドメンテナンス	この項目は、プリントヘッドのステータスを確認したり、プリントヘッドケアの設定を行う時に使用します。 <table border="1" data-bbox="475 495 1161 1115"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 495 662 531">アイテム</th> <th data-bbox="662 495 1161 531">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 531 662 772">Warning 警告</td> <td data-bbox="662 531 1161 772">この項目はプリントヘッドの洗浄警告を、有効または無効にする時に使用します。この機能を有効にすると、プリントヘッドが設定マイルージに達した時に警告アイコンがプリンターUIに表示され、ユーザーにプリントヘッドの洗浄を促します。デフォルト設定は無効です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 772 662 905">Reset Counter リセットカウンター</td> <td data-bbox="662 772 1161 905">この項目はプリントヘッドの洗浄後にプリントヘッドの洗浄警告マイルージをリセットする時に使用します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 905 662 1115">Interval 間隔</td> <td data-bbox="662 905 1161 1115">この項目はプリントヘッドの洗浄をユーザーに促すマイルージ数を設定する時に使用します。使用するには「TPH warning lock (TPH 警告ロック)」を有効にする必要があります。デフォルト設定値は 1km です。</td> </tr> </tbody> </table>	アイテム	説明	Warning 警告	この項目はプリントヘッドの洗浄警告を、有効または無効にする時に使用します。この機能を有効にすると、プリントヘッドが設定マイルージに達した時に警告アイコンがプリンターUIに表示され、ユーザーにプリントヘッドの洗浄を促します。デフォルト設定は無効です。	Reset Counter リセットカウンター	この項目はプリントヘッドの洗浄後にプリントヘッドの洗浄警告マイルージをリセットする時に使用します。	Interval 間隔	この項目はプリントヘッドの洗浄をユーザーに促すマイルージ数を設定する時に使用します。使用するには「TPH warning lock (TPH 警告ロック)」を有効にする必要があります。デフォルト設定値は 1km です。	N/A
アイテム	説明									
Warning 警告	この項目はプリントヘッドの洗浄警告を、有効または無効にする時に使用します。この機能を有効にすると、プリントヘッドが設定マイルージに達した時に警告アイコンがプリンターUIに表示され、ユーザーにプリントヘッドの洗浄を促します。デフォルト設定は無効です。									
Reset Counter リセットカウンター	この項目はプリントヘッドの洗浄後にプリントヘッドの洗浄警告マイルージをリセットする時に使用します。									
Interval 間隔	この項目はプリントヘッドの洗浄をユーザーに促すマイルージ数を設定する時に使用します。使用するには「TPH warning lock (TPH 警告ロック)」を有効にする必要があります。デフォルト設定値は 1km です。									
Print Quality 印字品質	この項目は、標準/高品質の印字品質を選択するために使用されます。	超モード								
Key Sound キーサウンド	キー音の ON/OFF を設定します。	ON								

5.7 ファイル管理

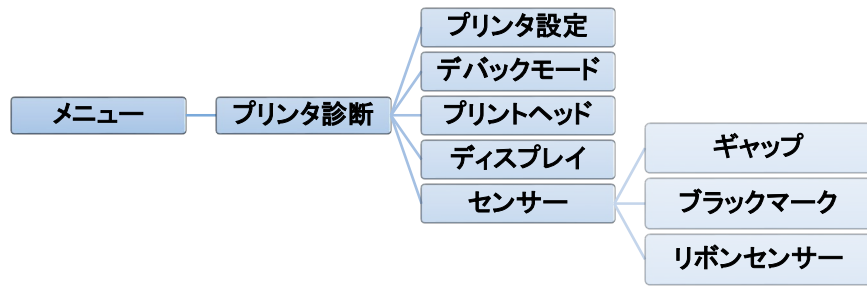
この機能は、プリンタの利用可能なメモリ量の確認や、ファイルリストの表示、プリンタの DRAM/フラッシュ/カードメモリ内に保存されたファイルの削除や実行をする時に使します。

注記:

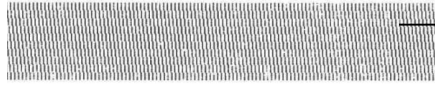
CARD および USB は、SD カードまたは USB フラッシュドライブが差し込まれると同時にタッチパネルに表示されます。SYSTEM 項目は、プリンター内部のシステム情報を確認するために使用します。(読み取り専用)




5.8 プリンタ診断



アイテム	説明
Print Config. プリンタ設定	プリンタの現在の設定をラベルに印字ために使用します。設定のプリントアウトに印字されるプリントヘッドテストパターンは、プリントヘッドにドットの損傷がないか確認するために役立ちます。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">セルフテスト印字</p> <hr/> <p style="margin: 0;">SYSTEM INFORMATION モデル名</p> <p style="margin: 0;">MODEL: XXXXXX / ファームウェアバージョン</p> <p style="margin: 0;">FIRMWARE: X.XX / ファームウェアチェックサム</p> <p style="margin: 0;">CHECKSUM: XXXXXXXX / プリンタシリアル番号</p> <p style="margin: 0;">S/N: XXXXXXXXXXXX / 構成ファイル</p> <p style="margin: 0;">TCF: NO / システム日付</p> <p style="margin: 0;">DATE: 1970/01/01 / システム時刻</p> <p style="margin: 0;">TIME: 00:04:18 / システム時刻</p> <p style="margin: 0;">NON-RESET: 110 m (TPH) / 印字されたマイルージ(メートル)</p> <p style="margin: 0;">RESET: 110 m (TPH) / 印字されたマイルージ(メートル)</p> <p style="margin: 0;">NON-RESET: 0 (CUT) / 切断カウンター</p> <p style="margin: 0;">RESET: 0 (CUT) / 切断カウンター</p> <hr/> <p style="margin: 0;">PRINTING SETTING 印字速度(インチ/秒)</p> <p style="margin: 0;">SPEED: 5 IPS / 印字濃度</p> <p style="margin: 0;">DENSITY: 8.0 / 印字濃度</p> <p style="margin: 0;">WIDTH: 4.00 INCH / ラベルサイズ(インチ)</p> <p style="margin: 0;">HEIGHT: 4.00 INCH / ラベルサイズ</p> <p style="margin: 0;">GAP: 0.00 INCH / ギャップ距離(インチ)</p> <p style="margin: 0;">INTENSION: 5 / ギャップ/ブラックマーク センサー強度</p> <p style="margin: 0;">CODEPAGE: 850 / コードページ</p> <p style="margin: 0;">COUNTRY: 001 / 国コード</p> <hr/> <p style="margin: 0;">Z SETTING ZPL 設定情報</p> <p style="margin: 0;">DARKNESS: 16.0 / 印字濃度</p> <p style="margin: 0;">SPEED: 4 IPS / 印字速度(インチ/秒)</p> <p style="margin: 0;">WIDTH: 4.00 INCH / ラベルサイズ</p> <p style="margin: 0;">TILDE: 7EH (~) / コントロールプレフィックス</p> <p style="margin: 0;">CARET: 5EH (^) / フォーマットプレフィックス</p> <p style="margin: 0;">DELIMITER: 2CH (,) / 区切り文字プレフィックス</p> <p style="margin: 0;">POWER UP: NO MOTION / プリンタ電源起動時の動き</p> <p style="margin: 0;">HEAD CLOSE: NO MOTION / プリントヘッドを閉じた時の動き</p> <p style="margin: 0;">注意: ZPL は、Zebra® 言語をエミュレートしません。</p> <hr/> <p style="margin: 0;">RS232 SETTING</p> <p style="margin: 0;">BAUD: 9600 / RS232 シリアルポート構成</p> <p style="margin: 0;">PARITY: NONE / RS232 シリアルポート構成</p> <p style="margin: 0;">DATA BIT: 8 / RS232 シリアルポート構成</p> <p style="margin: 0;">STOP BIT: 1 / RS232 シリアルポート構成</p> </div>

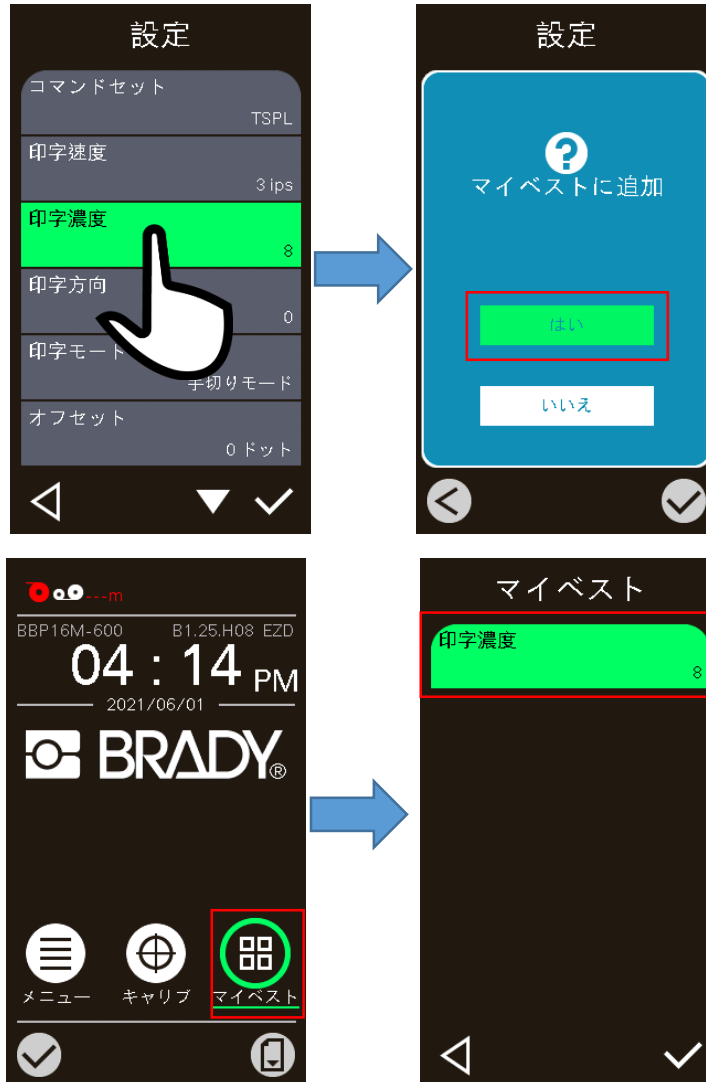
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <pre> ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre> <p>ダウンロード済みファイル数 総合 & 空きメモリ容量</p>  <p>プリントヘッド チェックパターン 注意: ドット破損の確認は幅4インチの用紙幅を必要とします。</p> </div>
<p>Dump Mode デバックモード</p>	<p>通信ポートからデータを取り込み、プリンタが受信したデータを印字します。デバックモードでは、すべての文字が2列に印字されます。左側の文字はシステムから受け取ったもので、右側のデータは文字に対応する16進法です。これを使ってプログラムを検証しデバックできるようになります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <pre> DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 D „TEST2. 44 20 22 54 45 53 54 32 2E DAT“,5,CL 44 41 54 22 2C 35 2C 43 4C S DOWNLO 53 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F AD F,„TES 41 44 20 46 2C 22 54 45 53 T4.DAT“,5 54 34 2E 44 41 54 22 2C 35 ,CLS DOW 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F 57 NLOAD „TE 4E 4C 4F 41 44 20 22 54 45 ST2.DAT“, 53 54 32 2E 44 41 54 22 2C 5,CLS DO 35 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F WNLOAD F, 57 4E 4C 4F 41 44 20 46 2C „TEST4.DA 22 54 45 53 54 34 2E 44 41 T“,5,CLS 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 0D DOWNLOAD 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44 „TEST2.D 20 22 54 45 53 54 32 2E 44 AT“,5,CLS 41 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 D F,„TEST 44 20 46 2C 22 54 45 53 54 4.DAT“,5, 34 2E 44 41 54 22 2C 35 2C CLS 43 4C 53 0D 0A </pre> <p>ASCII Data ←</p> <p style="text-align: right;">ASCII データの左側列に関連する 16進データ</p> <p>注意: デバックモードには幅4インチの用紙幅が必要です。</p> </div>
<p>Print Head プリントヘッド 検査</p>	<p>プリントヘッドの温度および不良ドットを確認する時に使用します。</p>
<p>Display 表示</p>	<p>LCD のカラー状態を確認するために使用されます。</p>
<p>Sensor センサー</p>	<p>センサーの強度および読取値を確認する時に使用します。</p>

5.9「マイベスト」を整理する

この機能はオリジナルのお気に入りリストを作成する時に使用します。また「マイベスト」 から、よく使う設定オプションを整理できます。

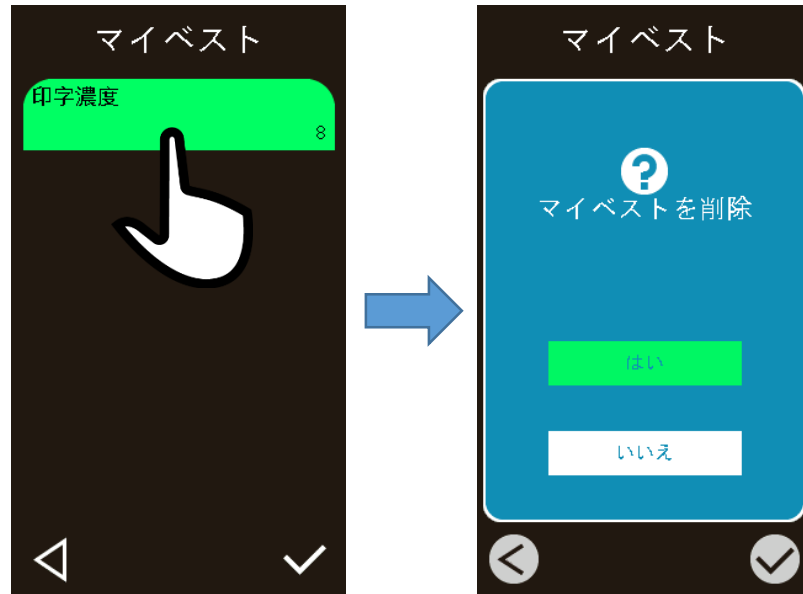
- 「Favorites (お気に入り)」リストの整理

お気に入りのオプション項目をタッチして長押しすると、「Join Favorites (お気に入りに追加)」設定画面が出現します。「Yes (はい)」をタップすると「Favorites (お気に入り)」にこの設定オプション項目を追加できます。



▪ お気に入りアイテムの削除

オプション項目をタッチして長押しすると、「Delete Favorites (お気に入りから削除)」設定画面が出現します。「Yes (はい)」をタップすると「Favorites (お気に入り)」からこの設定オプション項目を削除できます。

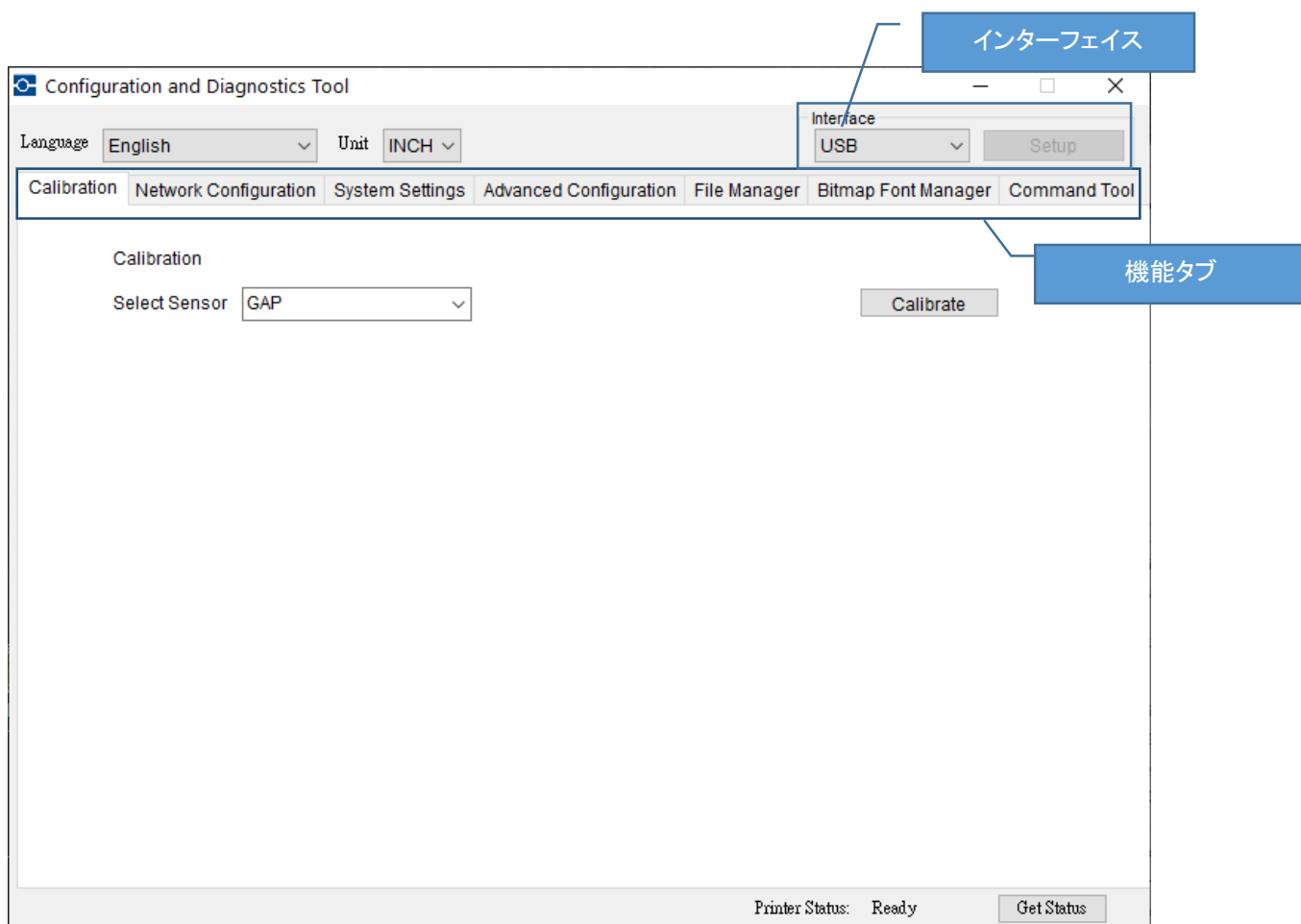


6. 診断ツール (Diagnostic Tool)

診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定や状態の検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

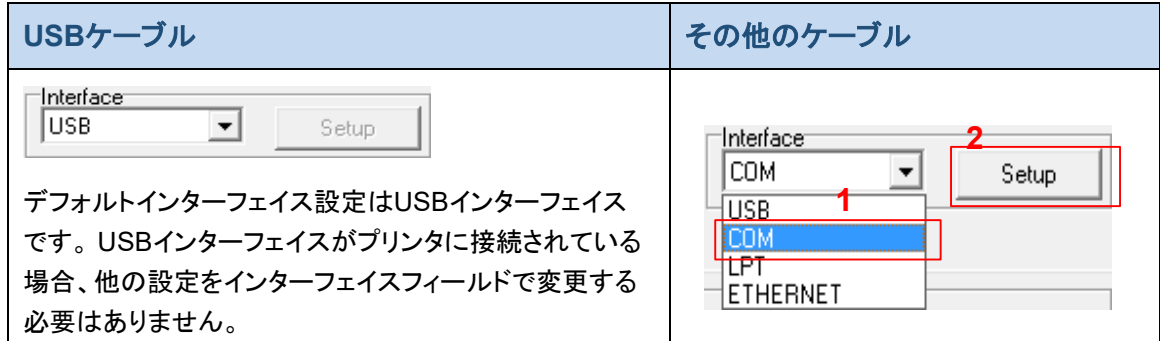
6.1 診断ツールの開始

1. 診断ツールアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。
2. 診断ユーティリティには7つの機能 (Calibration, Network Configuration, System Settings, Advanced Configuration, File Manager, Bitmap Font Manager & Command Tool) が含まれます。



6.2 プリンタ機能

1. ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. バーコードプリンタに接続されたPCインターフェイスを選択します。



3. 「Printer Function (プリンタ機能)」ボタンをクリックして設定します。
4. プリンタ機能グループの詳細機能は以下のとおりです。

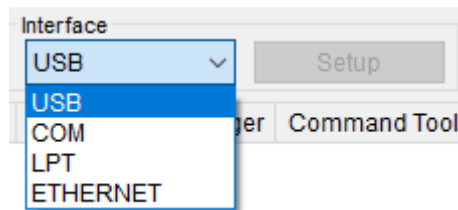
機能	説明
Printer Function	
Calibrate Sensor	センサー校正
Ethernet Setup	イーサネット設定
RTC Setup	RTC設定
Factory Default	工場出荷時デフォルト
Reset Printer	プリンタリセット
Print Test Page	テストページ印字
Configuration Page	構成ページ
Dump Text	テキストダンプ
Ignore AUTO.BAS	AUTO.BASの無視
Exit Line Mode	ラインモード終了
Password Setup	パスワード設定
	Printer Setup(プリンタ設定)グループメディアエンドセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
	IPアドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
	プリンタのリアルタイムクロックとPCを同期します
	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
	プリンタを再起動します
	テストページを印字します
	プリンタ構成を印字します
	プリンタダンプモードを起動します。
	ダウンロードされたAUTO.BASプログラムを無視します
	ラインモードを終了します。
	設定を保護するためにパスワードを設定します

6.3 診断ツールによるイーサネットの設定

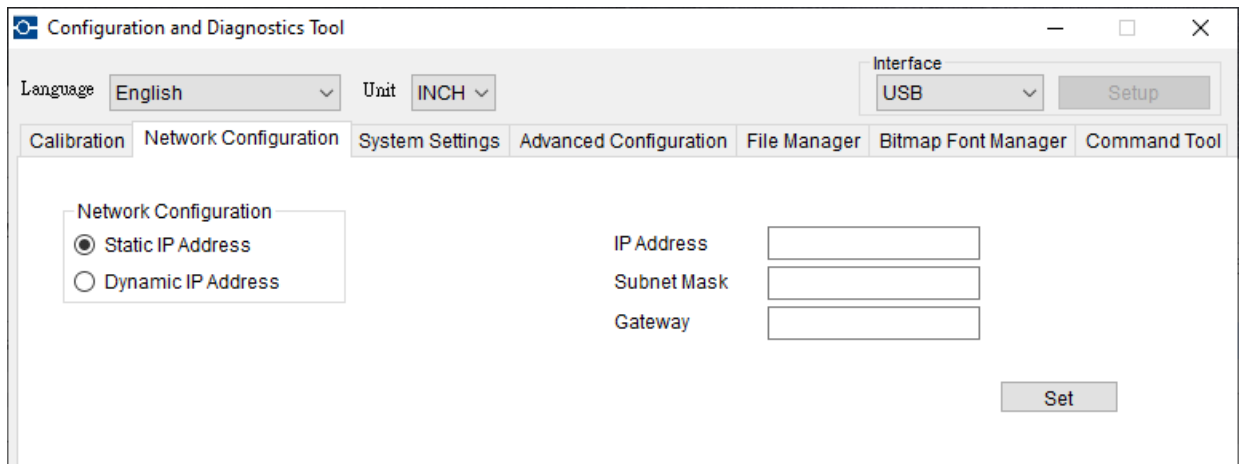
診断ユーティリティは、CD ディスク \ ユーティリティディレクトリに含まれています。[診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

6.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源スイッチを入れます。
3. アイコンをダブルクリックして、診断ユーティリティを起動します。
4. 診断ユーティリティのデフォルトインターフェイス設定は、USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。

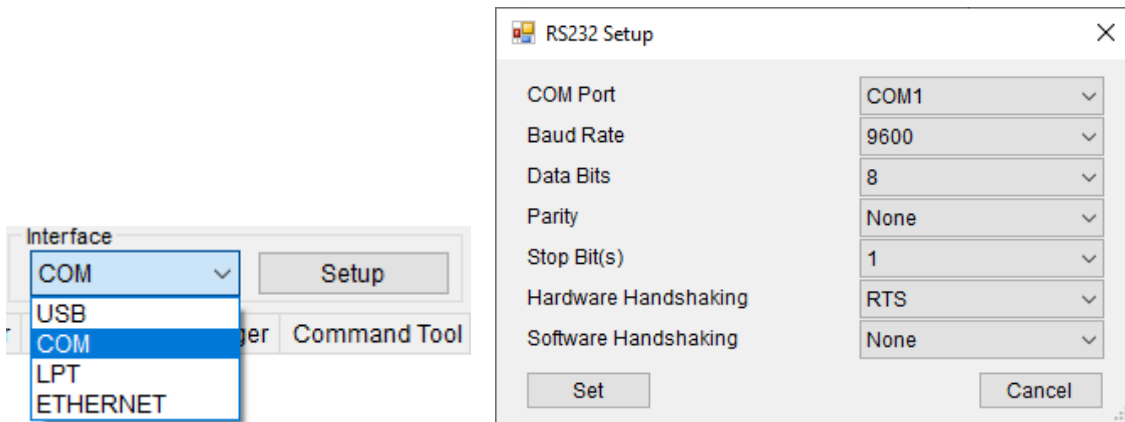


5. [Network Configuration]タブをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。

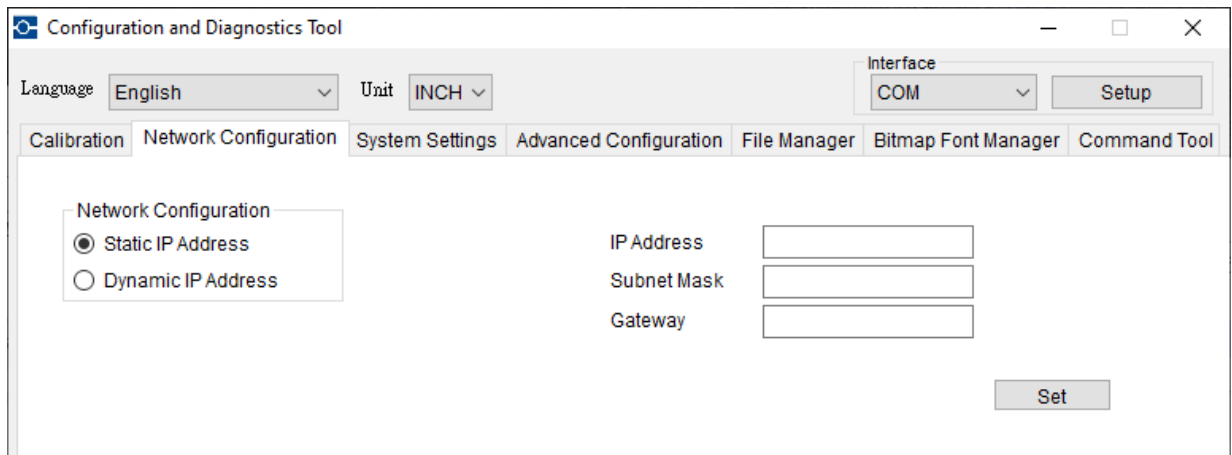


6.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. アイコンをダブルクリックして、診断ユーティリティを起動します。
4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。

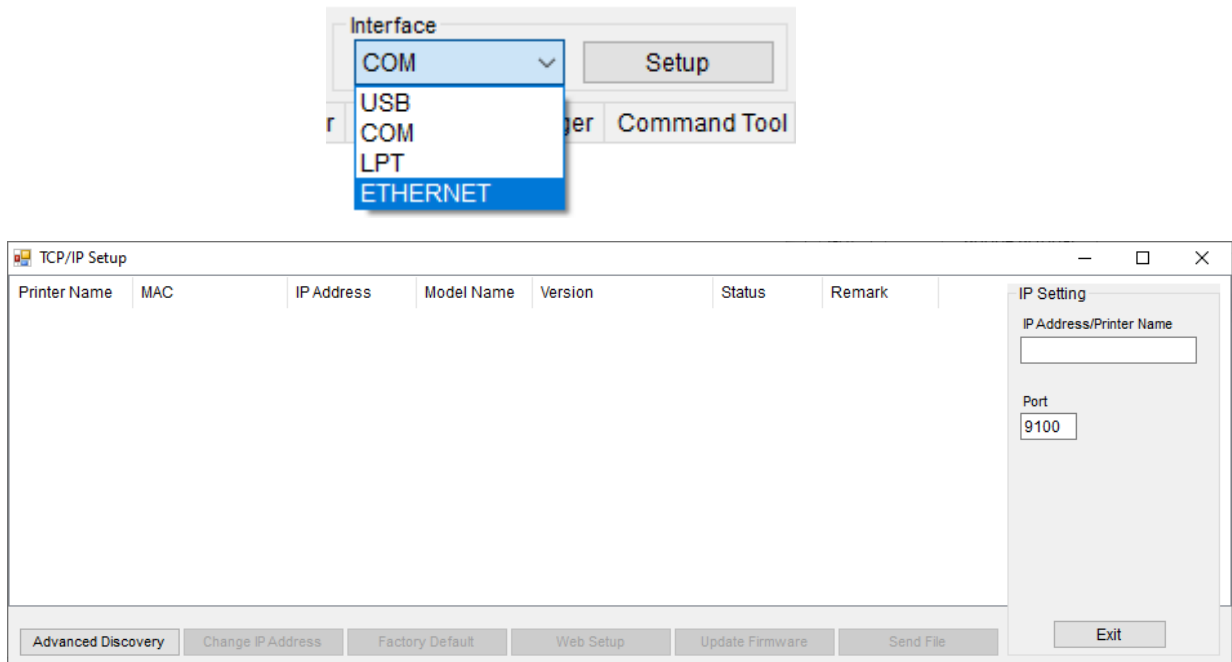


5. [Network Configuration]タブをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



6.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. アイコンをダブルクリックして Diagnostic Utility(診断ユーティリティ)を起動します。
4. 「Ethernet(イーサネット)」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Advanced Discovery」ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の「IP address/Printer Name (IP アドレス/プリンタ名)」フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address (IP アドレスの変更)」をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。

デフォルトの IP アドレスは、DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに変更するには、「Static IP(スタティック IP)」のラジオボタンをクリックしてから IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP (IP を設定)」をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name (プリンタ名)」を変更してから「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注意: 「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」または「Set IP (IP を設定)」ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit(終了)」ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、診断ツールメイン画面に戻ります。

「Factory Default (工場出荷時のデフォルト)」ボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットします。

「Web setup (ウェブ設定)」ボタン

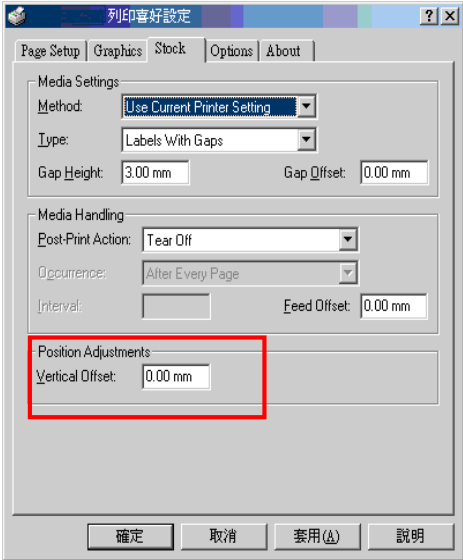
プリンタの設定で診断ユーティリティを使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

7. トラブルシューティング

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入した小売店または販売業者のカスタマーサービス部にお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
電源インジケータが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 電源コードが正しく接続されていない場合があります。 * 電源スイッチが閉じています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
キャリッジオープン	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタのキャリッジが開いています。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタキャリッジを閉じてください。
印字できない	<ul style="list-style-type: none"> * インターフェイスケーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。 * ワイヤレスまたはBluetoothデバイスがうまくホストとプリンタの間に接続されているか確認してください。 * Windowsドライバで指定されたポートが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * ケーブルをインターフェイスに再接続するか、新しいケーブルに交換してください。 * ワイヤレスデバイスの設定をリセットしてください。 * ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プリントヘッドのハーネスコネクタがプリントヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * プログラム上で、PRINT (印字) のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりにCRLFがあることを確認します。
ラベルに印字されない	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルまたはリボンが正しくセットされていません。 * 違ったタイプの紙またはリボンが使用されています 	<ul style="list-style-type: none"> * メディアおよびリボン取り付けの指示に従ってください。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * 印字濃度設定が不適切です。
リボンなし	<ul style="list-style-type: none"> * リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。
用紙なし	<ul style="list-style-type: none"> * ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。

紙詰まり	<ul style="list-style-type: none"> * ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> * メディアエンドセンサーを校正してください。 * メディアサイズを正しく設定してください。 * プリンタ機構内に詰まったラベルを取り除いてください。
メモリ(FLASH/DRAM/カード)にファイルをダウンロードすることができません	<ul style="list-style-type: none"> * メモリの容量が一杯です。 	<ul style="list-style-type: none"> * メモリ内の未使用ファイルを削除してください。
microSDカードが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> * microSDカードが破損しています。 * microSDカードが正しく挿入されていません。 * 認定SDカード製造元のカードではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * サポートされている容量のmicroSDカードを使用します。 * microSDカードを挿入し直します。 * サポートされているmicroSDカード仕様および認定microSDカード製造元については、セクション2.2.3を参照してください。
印字の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> * リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリントヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印字濃度が正しく設定されていません。 * プリントヘッド部位が破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリントヘッド圧力が正しく設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源装置をリロードします。 * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印字濃度と印字速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリントヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * プリントヘッド圧力調節ノブを調節します。 * リリースレバーがプリントヘッドに正しく嵌まっています。
ラベルの左側あるいは右側に、印字されていない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズの設定が正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正しいラベルサイズを設定します。
空白ラベルにグレーのラインが印字される	<ul style="list-style-type: none"> * プリントヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリントヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 <p>(8章を参照してください)</p>
印字が不規則である	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタが16進ダンプモードになっています。 * RS-232設定が不適切です。 	<ul style="list-style-type: none"> * ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * Rs-232設定をリセット。
印字中にラベルがスキップされる	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感動が正しく設定されていません。 * メディアエンドセンサーに埃が溜まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを校正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブローで清掃してください。
皺がよる	<ul style="list-style-type: none"> * プリントヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 次の章を参照してください。 * 適切な濃度を設定して印字画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドの端に接するよう

	<ul style="list-style-type: none"> * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印字濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。 	<p>にしてください。</p>
<p>印字を再起動する際のRTCタイムが正しくありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * バッテリーが残り僅かになっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * メインボードにバッテリー残量があるか確認します。
<p>印字結果の左側の位置が正しくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズの設定が正しくありません。 * LCDメニューのShift X (シフト X) のパラメータが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正しいラベルサイズを設定します。 * [Menu (メニュー)] → [Setting (設定)] → [Shift X (シフト X)] を押して、Shift X (シフト X) のパラメータを微調整します。
<p>小さいラベルの印字位置が適切ではない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * メディアエンドセンサー感動が正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しくありません。 * LCDメニューの Shift Y (シフト Y) のパラメータが正しくありません。 * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * センサー感度を再度校正します。 * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。 * [Menu (メニュー)] → [Setting (設定)] → [Shift Y (シフト Y)] → を押して、Shift Y (シフト Y) のパラメータを微調整します。 * BarTenderソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。 

8. メンテナンス

プリンタを保守する際に使用する清掃用具や方法について説明します。

• 清掃

使用するメディアによっては、通常の印字の副産物としてプリンタに残留物 (メディアダスト、接着剤など) が蓄積する場合があります。最高の印字品質を維持するためには、定期的にプリンタを清掃してこれらの残留物を取り除く必要があります。新しいメディアに交換したら、プリンタの最適な性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリントヘッドとメディアセンサーを定期的に清掃してください。

• 消毒

自分や他の人を保護し、ウイルスの拡散を防ぐため、プリンタを消毒してください。

• 重要

- 清掃作業や消毒作業を実行する前に、プリンタの電源スイッチを O (オフ) に切り替えてください。プリンタを接地したままにし、静電気による損傷のリスクを減らすために、電源コードは接続したままにしておきます。
- プリンタの内部を清掃するときは、指輪やその他の金属物を着用しないでください。
- 本書で推奨されている洗浄剤のみを使用してください。他の洗浄剤を使用すると、プリンタが損傷し、保証が無効になる場合があります。
- 液体洗浄剤を直接プリンタに吹き付けたり滴下したりしないでください。糸くずの出ない清潔な布に洗浄剤を塗布してから、プリンタに塗布してください。
- センサーやその他の重要なコンポーネントにほこりやごみを吹き付ける可能性があるため、プリンタの内部に圧縮空気を使用しないでください。
- 静電気の蓄積を排出するために、導電性で接地されたノズルとホースを備えた掃除機のみを使用してください。
- これらの手順でイソプロピルアルコールを使用する場合は、プリントヘッドへの湿気腐食のリスクを減らすために、99%以上の含有量のイソプロピルアルコールが必要となります。
- プrintヘッドに手を触れないでください。誤ってヘッドに触れてしまった場合は、99% イソプロピルアルコールで洗浄します。
- 洗浄剤を使用するときは、常に自身の健康にも注意を払ってください。

• 清掃用具

- 綿棒
- 柔らかい布
- 柔らかい非金属の毛が付いたブラシ
- 吸引掃除機
- 75%エタノール(消毒用)
- 99%イソプロピルアルコール(プリントヘッドおよびプラテンローラーの清掃用)
- 純正のプリントヘッド清掃ペン
- 中性洗剤(塩素なし)

• 清掃プロセス

プリンタ部品	方法	間隔
プリントヘッド	<ol style="list-style-type: none"> 1. プrintヘッドを清浄する前に、必ずプリンタの電源を切ってください。 2. 少なくとも1分間、プリントヘッドが冷却されるまで待機します。 3. 綿棒と99%イソプロピルアルコールまたは純正のプリントヘッド清掃ペンを使用して、プリントヘッドの表面を清掃します。 	新しいラベルロールを使う時はプリントヘッドを拭いてください。
プラテンローラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタの電源を切ります。 2. プラテンローラーを回転させ、糸くずの出ない99%イソプロピルアルコールで完全に拭きます。 	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
ピールバー	糸くずの出ない布と99%イソプロピルアルコールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	柔らかい非金属の毛が付いたブラシ、または上記の吸引掃除機を使用して、紙のほこりを取り除いてください。	毎月
外面	糸くずの出ない清潔な布(水で湿らせた布)で外面を拭いてください。必要に応じて、中性洗剤またはデスクトップ洗浄液を使用してから、75%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
内面	上記の吸引掃除機または柔らかい非金属の毛のブラシを使って汚れや糸くずを取り除いて、プリンタの内部を掃除してから、75%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービス、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは最寄りの代理店にご連絡ください。弊社へのお問い合わせ、ご相談は下記にご連絡ください。

日本ブレイディ株式会社

製品故障・修理に関するお問い合わせは…

メンテナンス 042-655-2534

受付時間: 9~12時、13~17時(土、日、祝祭日を除く)

その他のお問い合わせは…

カスタマサービス 042-655-2535

受付時間: 9~12時、13~17時(土、日、祝祭日を除く)

最新のプリンタ情報

最新のプリンタの情報をインターネットの弊社ホームページから入手することができます。

インターネット/日本ブレイディ ホームページ

<http://www.brady.co.jp>

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品(ハードウェア、ソフトウェア)および取扱説明書(本書)を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。
4. 機械の改良・変更等により本書のイラスト、記載事項がお客様の機械と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

日本ブレイディ株式会社

〒192-0043 東京都八王子暁町1-31-16

TEL: 042-655-2535 FAX: 042-655-2556



© 2016 Brady Worldwide, Inc. All Rights Reserved.

Brady Corporation
6555 West Good Hope Road
P.O. Box 2131
Milwaukee, WI 53201-2131

www.bradycorp.com